

第3章

川沿いのまちづくり実現に向けたビジョン・方針

1 全体ビジョン

千代田区に住み・働き・学び・訪れる人々で共有する、千代田区の川沿いのまちづくりの将来像として以下の全体ビジョンを定めました。

江戸から紡ぐ歴史を暮らしの舞台に ～人が集う川づくり～

千代田区内の河川は、江戸時代から生活に欠かせない輸送経路であり、水運を中心としたまちの発展に寄与するとともに、様々な人々の活動・交流を生み出してきました。

しかし、時代の移り変わりとともに、川沿いの空間が変化し、川の存在はまちと離れたものになっています。

そこで、川とまちが一体となった歩きやすい空間や、水と風を感じることのできる空間、まちとまちをつなぐ空間を創出することにより、かつてのように、川を人々の生活にとって身近で居心地の良い場所とすることで、千代田区における川の歴史だけでなく、まちとそこで活動し、滞在する人々をつないでいくことを目指します。

このような認識のもと、川沿いのまちづくりの実現に向けた全体ビジョンを「江戸から紡ぐ歴史を暮らしの舞台に～人が集う川づくり～」と定めます。

川または川沿いで楽しむイラスト
(予定)

2 川沿いのまちづくりの方針

全体ビジョン（将来像）の実現に向けて、4つの川沿いのまちづくり方針を定めました。この方針に基づき、千代田区内の多様な活動主体の取組みを推進していきます。

● 全体ビジョンに向けた4つの方針

方針

1

川に人々の意識を向ける～川の魅力の再発信～

川のポテンシャルを知り、人の意識を向け
まちづくりとしての価値を高めます。

方針

2

川に開いたまちづくり～水を活かした空間の創出～

川を基軸にまちづくりを進めていき、
川に開いた部分を増やします。

方針

3

水辺空間の連続性～水辺の拠点を結ぶネットワークの構築～

川に開けた場所をつなぎ合わせ、
質の高い空間の連続性をもたせます。

方針

4

川を使う～遊び場としての川沿いの活用～

川沿いの活用を推進します。
多くの人が足を運びたくなる環境づくりを行います。

江戸から紡ぐ歴史を暮らしの舞台に ～人が集う川づくり～

江戸から続く、歴史ある川をまちづくりの中心へ。

川沿いを誰もが歩きやすく、川で楽しく遊ぶことができ、

川を集う場所にすることを目指します。



川に人々の意識を向ける～川の魅力の再発信～

(1) 川沿いの魅力の再発信

- 駅や施設等の拠点から水辺へのルート上にわかりやすい案内サイン等を設置するなど、歩きやすい川沿いの演出を推進します。
- 川だけでなく、周辺の施設と連動したイベント等を推進することで、川の魅力を一層向上させ、川沿いの賑わいを創出します。



▲川沿いのランタンイベント
(長崎県)

(2) 川の環境整備

- 「汚い」「臭い」という川に対するマイナスイメージを改善するため、東京都が策定した「外濠浄化に向けた基本計画」と連携しながら、日本橋川・神田川の水質改善に向けた取組みを推進します。併せて、生物が住める環境の整備を推進します。
- 川沿いを歩いて気持ちの良い空間とし、川沿いで人々の活動が創出されるように、まちから川が見え、まちとのつながりが感じられるような建築・修景等を推進します。
- コンクリート堤防と水面に、新しい緑化による景観と生態系の創出を推進します。



▲日本橋川の河川内緑化

(3) 川の歴史を知り、歴史景観を守る

- 川沿いにある建築物や橋りょう、石垣の歴史についての情報を広く伝えるなど、多くの人が川に興味を持つ環境づくりを推進します。
- 神田川の渓谷など川沿いにある歴史景観を広く伝え、守るよう努めます。
- 水面からの景観に配慮したまちづくりを推進します。



川に開いたまちづくり～水を活かした空間の創出～

(1) 川を近づきやすいものにする

- 歴史資源等を活かした橋りょうの演出を推進することで、千代田区の歴史に対する認知度の向上と、川沿いの空間に対する愛着の形成を図ります。
- 駅や施設等の拠点と川を結ぶルートや、建築物等から川を望むことができるビューポイントの創出、その案内の設置等、川と人をつなぐ環境の整備を推進します。

(2) 川沿い空間の活用の幅を広げる

- 防災船着場は、水面とまちをつなぐ重要なポイントであることから、非常時だけでなく日常的な舟運等により活用することを検討します。
- 橋詰広場の川への近接性を活かし、人々が川の近くで憩い、活動できる場所の創出を推進します。
- 川に顔を向けた建築物がつながりをもって立ち並ぶよう、川を意識した建築物の建て替えや開発等を推進します。
- 人々が川沿いで憩えるような空間の形成に向け、川沿いの公共空間（道路や広場）と民間建築物が連携を図るよう働きかけます。
- 川を活かした取組み・交流を行い、川に関する情報の発信等ができる拠点の設置について検討します。
- 首都高速道路の改修や隣接地での大規模開発行為などのまちづくりの動きに伴い、首都高速道路の地下化について地域から要望があがった際には、関係各所へ要請していきます。



▲現在の防災船着場（新三崎橋）



▲大手町川端緑道でのキッチンカー出店



▲拠点場のイメージ（大阪府・β本町）

(1) 歩きたくなる川沿いを作る

- 子どもから高齢者まで幅広い世代に対し、川沿いを居心地が良く歩きたくなる場所とするため、民間敷地の歩道上空地と公共空間をつなげる取組みや滞留空間の創出について推進します。
- 川と地域資源のつながりを強化し、質の高い空間の連続性をつくることでウォークブルなまちづくりを推進します。
- まち中にある賑わい施設や人の活動動線を川沿いにつなげ、まちから川沿いへのネットワークの構築を図ります。
- 川沿いの景観を楽しめるビューポイントの創出を推進します。



▲管理用通路を用いた歩行者空間
(大阪府・道頓堀川)

(2) 水面の豊かなネットワークを作る

- 防災船着場を活用した舟運の定期的な運航により、周辺区も含めた観光スポットと連携した観光船や、新たな交通ネットワークの構築について検討します。
- 川と人の距離を近づけるため、橋りょう下の空間を、歩行者空間として活用することや、橋詰広場とつなげることを検討します。
- 川を軸にした周辺の道路、建築物とのつながりを重視し、開けたまちづくりを推進します。
- 川沿いの史跡・拠点等のつながりの形成を推進します。



▲橋りょう下の空間をつなげる
(大阪府・道頓堀川)



川を使う～遊び場としての川沿いの活用～

(1) 川沿いの遊び場としての活用

- 川に関わる多様な主体が川を通じて交流できるように、川での活動やイベント等を推進します。
- 水面で遊ぶ場や川沿いで川を見て楽しむ場の創出を推進します。
- 川沿いの空間が、子どもから高齢者まで安全・安心に利用できる空間となるよう誘導します。
- 地域主導で実施するエリアマネジメント活動を推進します。



▲川沿いのイルミネーション

▼千代田区エリアマネジメント活動推進ガイドライン

千代田区エリアマネジメント活動
推進ガイドライン
(案)

まちでのアクションを攻略しよう！

令和5年2月
千代田区

3 目的

暮らしを豊かにする事業として、地域が元気で生活できる環境を創出する活動に、デジタル技術を活用することで、より安全・安心なまちづくりを推進する。

- 市民が主体的にまちづくりに参加し、地域課題の解決やまちづくりの推進に貢献できる環境を整える。
- 市民が主体的にまちづくりに参加し、地域課題の解決やまちづくりの推進に貢献できる環境を整える。
- 市民が主体的にまちづくりに参加し、地域課題の解決やまちづくりの推進に貢献できる環境を整える。

千代田区エリアマネジメント活動推進ガイドライン

水辺空間を活用した隅田川マルシェ

(2) 川の活用に向けた環境の構築

- 川沿いのオープンスペース等が、地域の季節行事やイベント等で活用しやすい場となるような環境づくりを推進します。
- 防災船着場を常時閉鎖するのではなく、地域等で活用できる場所としていくことを検討します。
- 川を活用した活動の拠点の創出を推進します。

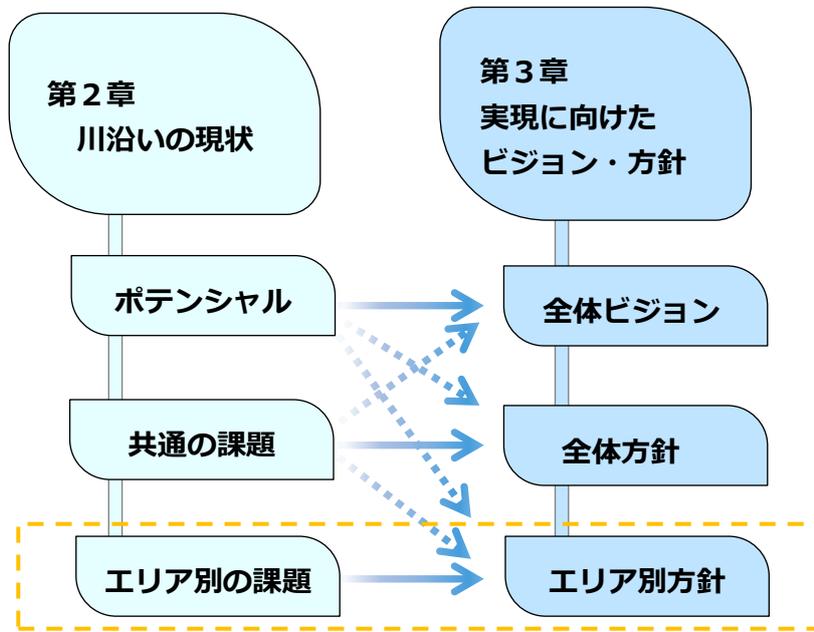


▲防災船着場の利用（和泉橋船着場）

3 エリア別方針・エリアカルテ

●エリア別方針について

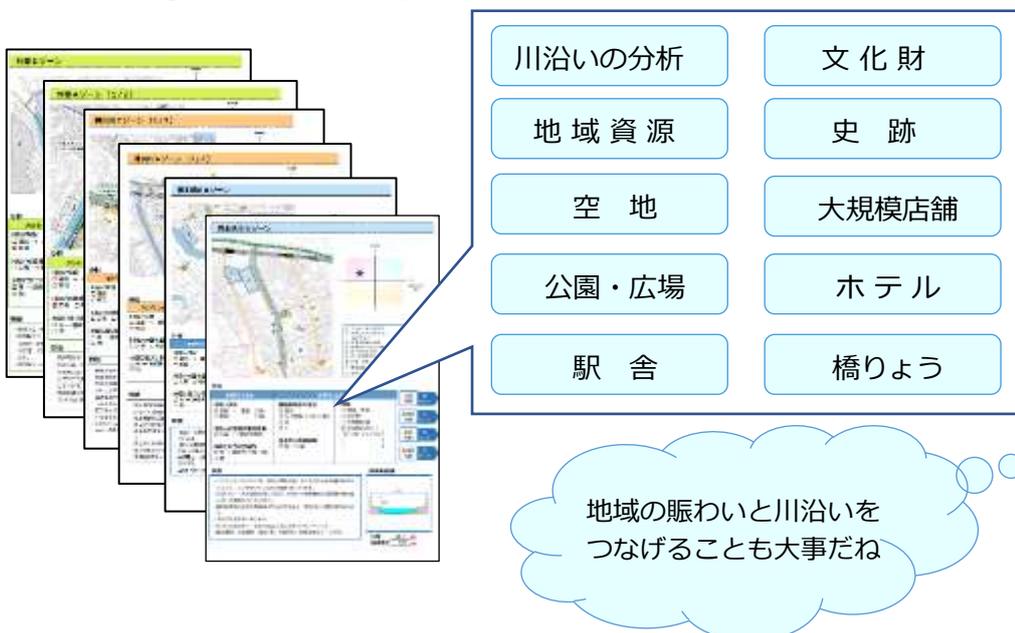
エリア別の課題を改善するために、全体方針とは別にエリア別方針を定めて川沿いのまちづくりを推進します。



●エリアカルテについて

エリアカルテとは、今後、川沿いにおいて、開発や建築物の建て替え等のまちづくりが動く際に、地権者又は建築事業者等が川沿いのまちづくりを進めていくための参考資料です。

エリアカルテは、第2章で確認した川沿いの現況と全体的な課題、エリア毎の課題・方向性を分かりやすく示し、第3章の、将来のビジョン、全体方針とエリア別方針を基にまちづくりについて考えるきっかけを与えるものとなります。



日本橋川エリア～川沿いで人々が憩える、回遊性のある環境づくり～

● 日本橋川エリア方針

(1) 防災船着場を拠点とした水上交通の回遊性向上

現在の防災船着場を活用し、千代田区内・区外を含めた観光スポットと連携した水上交通の活性化を図り、都心部からの新たな観光アクセスルートの拡充を推進します。

また、船着場は水面から陸地にアクセスするポイントとなります。船着場からまちへのつながりをもたせることで、川からまちへの回遊性向上も推進します。

(2) 川沿いのオープンスペースの拡充と歩行者空間の連続化

川沿いに整備されている歩道上空地と橋詰広場や橋りょうの下の空間につながりをもたせ、誰もが川沿いを歩きたくなる環境の整備を進めます。

また、川沿いの大規模開発時には、賑わいができる空地の確保を推進します。

(3) 首都高速道路の高架下空間の改善

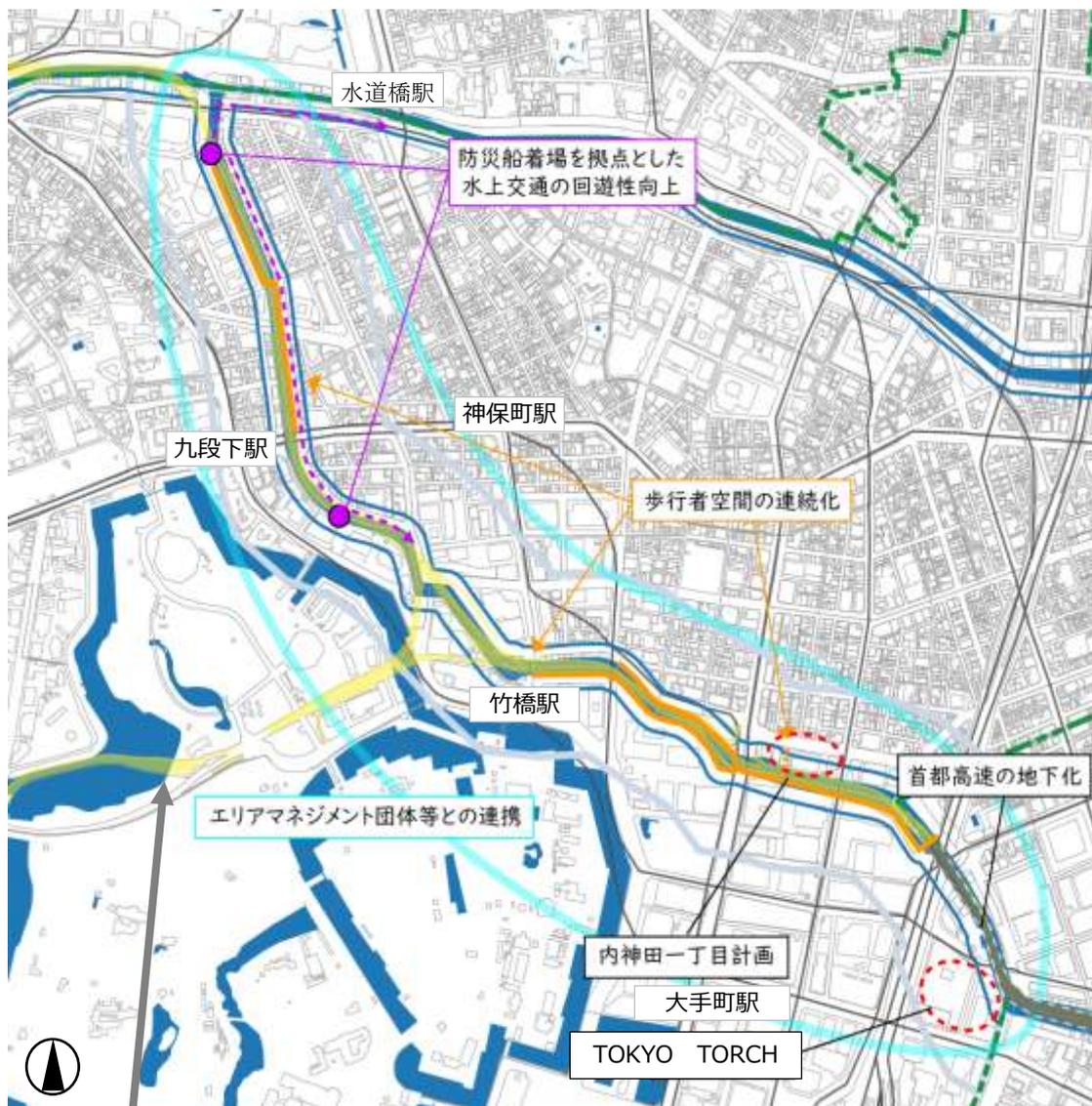
首都高速道路の高架下空間となっている日本橋川の暗いイメージを払拭するため、愛着の沸く温かな雰囲気生まれるような川沿い空間の創出を進めます。

また、首都高速道路の改修や隣接地での大規模開発などのまちづくりの動きに伴い、首都高速道路の地下化について地域から要望があがった際には、関係各所へ要請していきます。

(4) エリアマネジメント団体等と連携した川沿いの活用の推進

川沿いに存在するエリアマネジメント団体・まちづくり協議会と連携し、川沿いのオープンスペースを用いたイベントや、新たな試みの実施などを推進します。

▼図：日本橋川エリアの取組み方針図



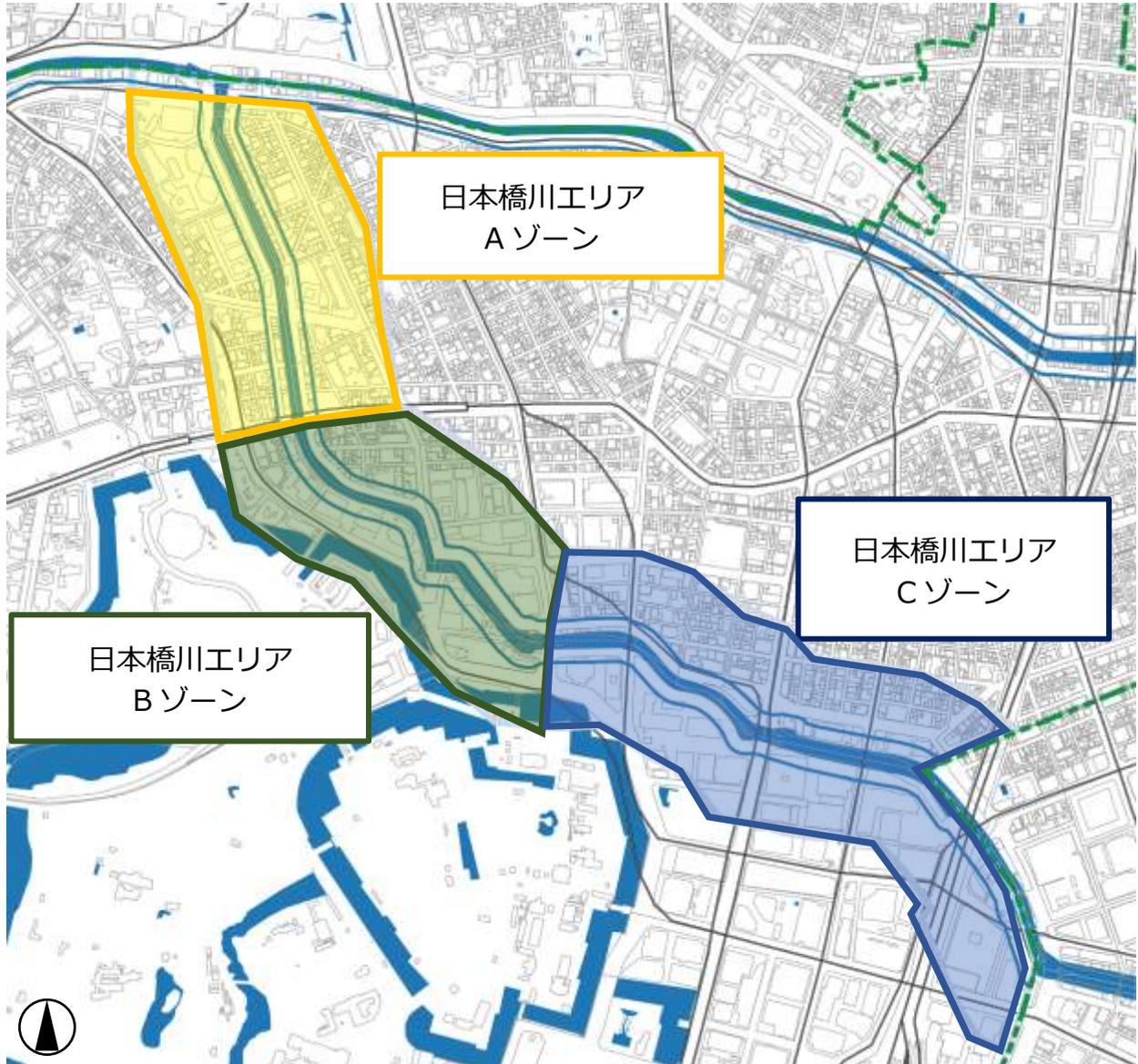
▼図：首都高速道路範囲図



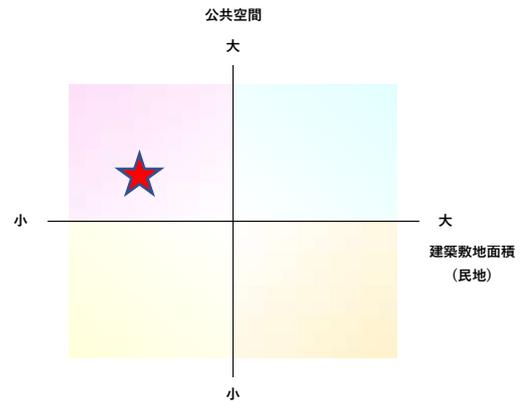
● 日本橋川エリアカルテ

日本橋川を大きく3つのゾーンに分けてカルテを作成します。

▼日本橋川エリアのゾーン分け図



日本橋川 Aゾーン



- ① アイガーデンテラス
- ② ホテルメトロポリタン エドモンド
- ③ 西神田百樹の広場
- ④ 西神田けやきの広場
- ⑤ 地下鉄九段下駅
- ⑥ 地下鉄神保町駅
- ⑦ 新三崎橋防災船着場
- ★ 広場・公園
- 文 学校施設
- H ホテル
- 水辺に近づける箇所

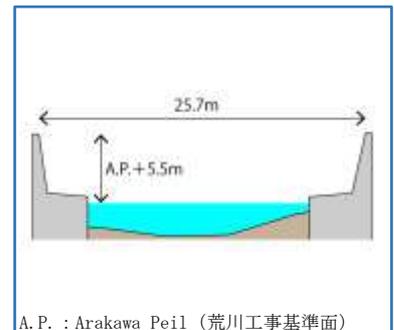
分析

川から 30m	川から 200m		共通 課題
川沿い状況 <input checked="" type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 無 川沿いの空地空間の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 広場 <input type="checkbox"/> 敷地内通路 水辺に近づける場所 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無	建築敷地の大きさ 西側 ⇒ 大・小 東側 ⇒ 小 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 大 (敷地 2,000 m²超) 中 (敷地 500 m²~2,000 m²) 小 (敷地 500 m²未満) </div> 川上空に首都高速道路 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	資源 <input type="checkbox"/> 神社・寺院 <input type="checkbox"/> 文化財 <input type="checkbox"/> 大規模店舗 <input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (アイガーデンテラス) () ()	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">30 ページ</div> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">31 ページ</div> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">36 ページ</div> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px;">42 ページ</div>

特徴

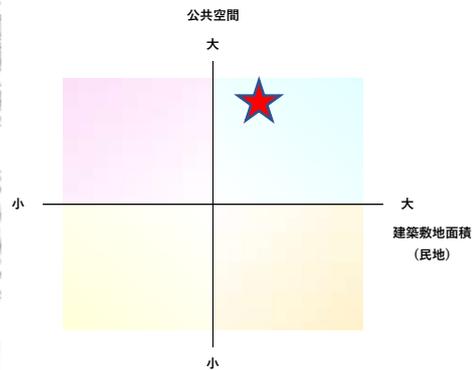
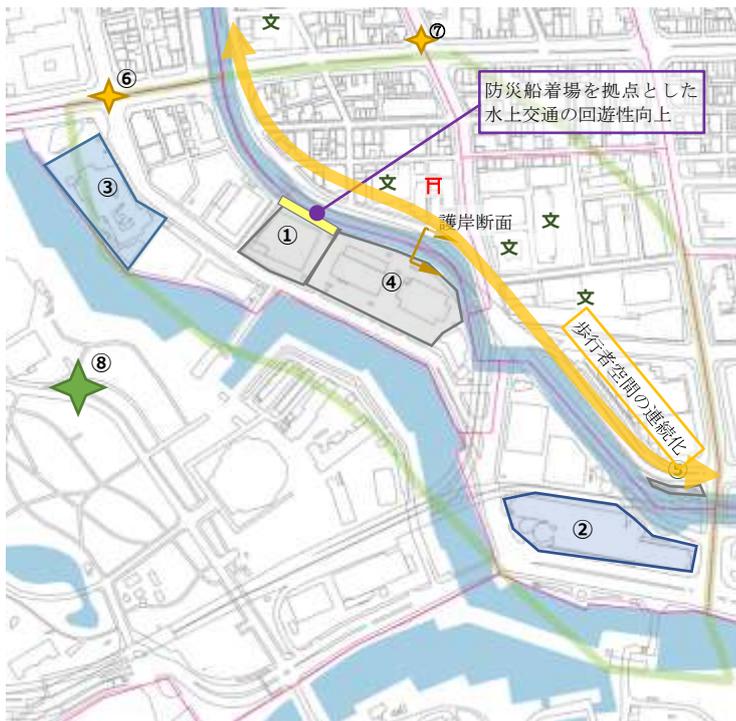
- ・アイガーデンテラスには、桜など季節を感じることでできる樹種が設けられており、人が歩きやすい空地が整備されています。
- ・川沿いは、一方が道路に面しており、対岸は小規模敷地に建築物が立ち並んでいる構成となっています。
- ・西神田百樹の広場や西神田けやきの広場など、民地内に公開広場があります。
- ・学校や広場が多くあります。
- ・日中の活動が多く、学生や社会人などが多くいるゾーンです。
- ・飯田橋駅、水道橋駅、九段下駅、神保町駅の駅舎があるゾーンです。

護岸断面図



川幅 25.7 m
護岸高さ 5.5 m

日本橋川 B ゾーン



- ① 千代田区役所・防災船着場
- ② パレスサイドビル
- ③ 九段会館
- ④ 九段合同庁舎
- ⑤ 土木事務所・公衆トイレ
- ⑥ 地下鉄九段下駅
- ⑦ 地下鉄神保町駅
- ⑧ 北の丸公園・武道館
- Ⓜ 神社
- Ⓝ 学校
- 水辺に近づける箇所

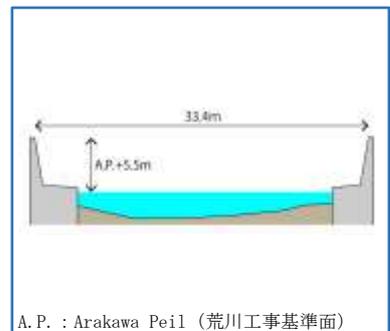
分析

川から 30m	川から 200m		共通課題 30 ページ 地域別課題 31 ページ 全体方針 36 ページ 地域別方針 42 ページ
川沿い状況 <input checked="" type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 無 川沿いの空地空間の有無 <input type="checkbox"/> 広場 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地内通路 水辺に近づける場所 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無	建築敷地の大きさ 西南側 ⇒ 大 東北側 ⇒ 小 大 (敷地 2,000 m ² 超) 中 (敷地 500 m ² ~2,000 m ²) 小 (敷地 500 m ² 未満)	資源 <input type="checkbox"/> 神社・寺院 <input type="checkbox"/> 文化財 <input type="checkbox"/> 大規模店舗 <input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (千代田区役所) (パレスサイドビル) ()	
	川上空に首都高速道路 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		

特徴

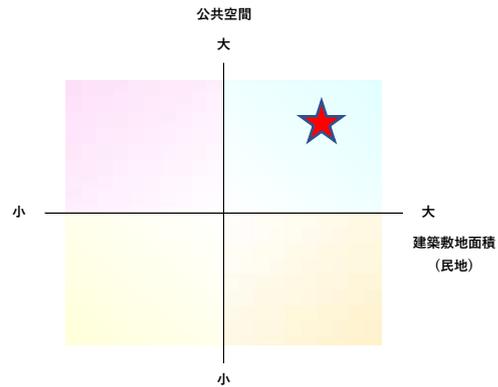
- ・川沿い、北側は道路となっており、対岸は大規模敷地に建築物が立ち並んでいます。
- ・川沿いの建築敷地は、公共の建築敷地が多いです。
- ・九段下には日本武道館などがあり、多くの人を訪れるまちです。
- ・神保町は、古書店・スポーツ店街があり、学校が集積している特徴のあるまちです。
- ・出版社が多く存在します。

護岸断面図



川幅 33.4 m
護岸高さ 5.5 m

日本橋川Cゾーン (1/2)



- ① OTEMACHI ONE・フォーシーズンズホテル
- ② 大手町川端緑道
- ③ OTEMACHI ONE 公開広場
- ④ 大手濠緑地
- ⑤ 将門塚
- ◆ 広場・公園
- 水辺に近づく箇所

分析

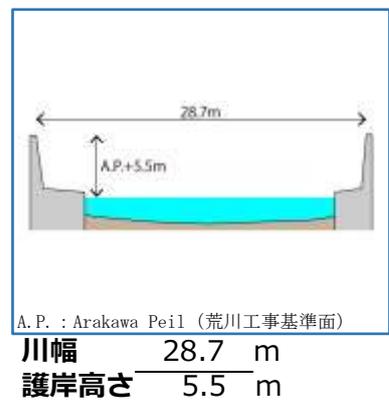
川から 30m	川から 200m	
川沿い状況 <input checked="" type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 無 川沿いの空地空間の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 広場 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地内通路 水辺に近づく場所 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無	建築敷地の大きさ 南側 ⇒ 大 北側 ⇒ 中 大 (敷地 2,000 m ² 超) 中 (敷地 500 m ² ~2,000 m ²) 小 (敷地 500 m ² 未満)	資源 <input type="checkbox"/> 神社・寺院 <input type="checkbox"/> 文化財 <input checked="" type="checkbox"/> 大規模店舗 <input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (OTEMACHI ONE 公開広場) (大手濠緑地) (将門塚)

- 共通課題 30 ページ
- 地域別課題 31 ページ
- 全体方針 36 ページ
- 地域別方針 42 ページ

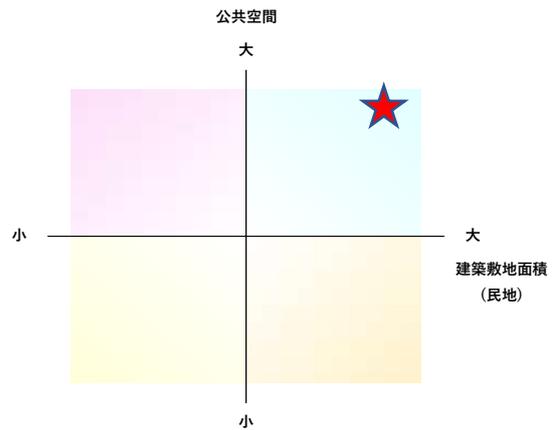
特徴

- ・川沿いの空間は、南側は、道路と大手町川端緑道（歩道空間）が整備されています。対岸である北側は、一部小規模建築物が立ち並んでいますが、その他は道路と区立神田橋公園といった構成となっています。
- ・内堀通りは、皇居ランナーや観光客など、幅広い世代の人々が利用する道です。
- ・大手町合同庁舎第3号館や東京消防庁などの公共建築物があります。
- ・川を境に南側は大手町の大規模ビルが多く立ち並び、一方北側の街並みは、中高層ビルが多くまちの様子が大きく異なります。

護岸断面図



日本橋川Cゾーン (2/2)



- ① 大手町川端緑道
- ② 常盤橋公園・常磐橋
- ③ TOKYO TORCH (工事中)
- ④ 星のや東京
- ⑤ 公開空地 (大手町仲通り)
- ⑥ 公開空地 (広場空地)
- ⑦ OOTEMORI
- ⑧ 竜閑さくら橋
- ⑨ 区営住宅
- ⑩ 区立スポーツセンター
- ⑪ 内神田1丁目計画
- F 神社
- ★ 広場・公園
- H ホテル
- 水辺に近づける箇所

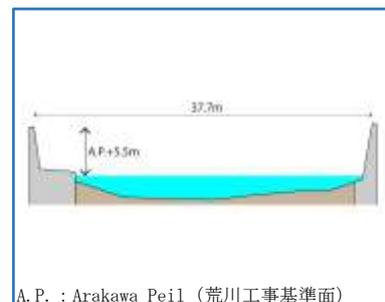
分析

川から 30m	川から 200m		共通 課題
<p>川沿い状況</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>川沿いの空地空間の有無</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 広場 <input type="checkbox"/> 敷地内通路</p> <p>水辺に近づける場所</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無</p>	<p>建築敷地の大きさ</p> <p>南側 ⇒ 大 北側 ⇒ 中</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 大 (敷地 2,000 m²超) 中 (敷地 500 m²~2,000 m²) 小 (敷地 500 m²未満) </div> <p>川上空に首都高速道路</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p>	<p>資源</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 神社・寺院 <input type="checkbox"/> 文化財 <input checked="" type="checkbox"/> 大規模店舗 <input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (大手町緑道) (常盤橋公園・常磐橋) (TOKYO TORCH)</p>	<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">30 ページ</div> <div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">31 ページ</div> <div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">36 ページ</div> <div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px;">42 ページ</div>

特徴

- ・川沿いの空間は、南側に大手町川端緑道が整備され、連続した歩行空間があります。また、JR 高架橋の東側は、常盤橋公園と常磐橋があり、中央区へアクセスできる場所となっています。
- ・常盤橋公園の南側では TOKYO TORCH の開発工事が進んでいます。先行して親水空間が整備され、今後、東京駅とつながる大規模広場も整備予定となっています。
- ・川沿いの北側は、建築敷地となっており、内神田1丁目では、人道橋が建設される開発工事が進んでいます。
- ・また、川沿いの川南側は、公開空地が多く存在しており、OOTEMORI や大手町仲通りなどは、高層建築群の中の憩いの場となっています。

護岸断面図



川幅 37.7 m
護岸高さ 5.5 m

神田川エリア～自然と拠点を結ぶ日常と非日常使いができる川沿いの空間～

● 神田川エリア方針

(1) お茶の水付近の堤防・水辺の緑との連続性の創出

お茶の水付近の緑の豊かな川沿いの景観を保全していくために、前後の区間も含め堤防の緑化を行い、連続した緑豊かな景観を創出します。

(2) 大規模店舗等地域の拠点から川沿いへの歩行者動線の誘導

万世橋の mA Ach ecute のように川沿いを活用した飲食店舗等がさらにつながりやすいまちづくりを推進します。また、川沿いの建築物を建て替える際は、1階に店舗を設けるよう誘導します。

秋葉原周辺の電気街から川沿いへ向かう新たな歩行者動線を確立させ、川に開けたまちづくりを推進します。

(3) 防災船着場を中心とした川の拠点づくり

和泉橋防災船着場は、水面に近づくことのできる階段状の広場と出張所が近接しているため、人々が川を楽しめる場、情報発信の場としての活用を推進します。

(4) 川を眺めることのできるビューポイントの周知と拡充

神田川エリアは、土地の高低差があるため、川を上から見渡すことのできるビューポイントが多く存在します。

高低差のある地形を活かし、ビューポイントから一段下がる広場やテラスを設けるなど、川をより身近に感じられ、景観を楽しめる憩いの場の創出を推進します。

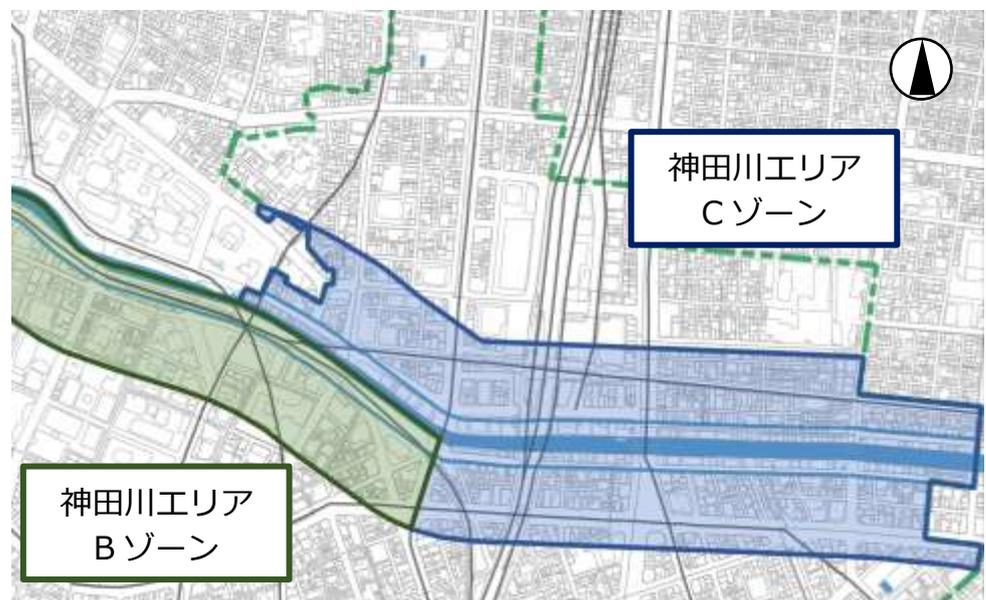
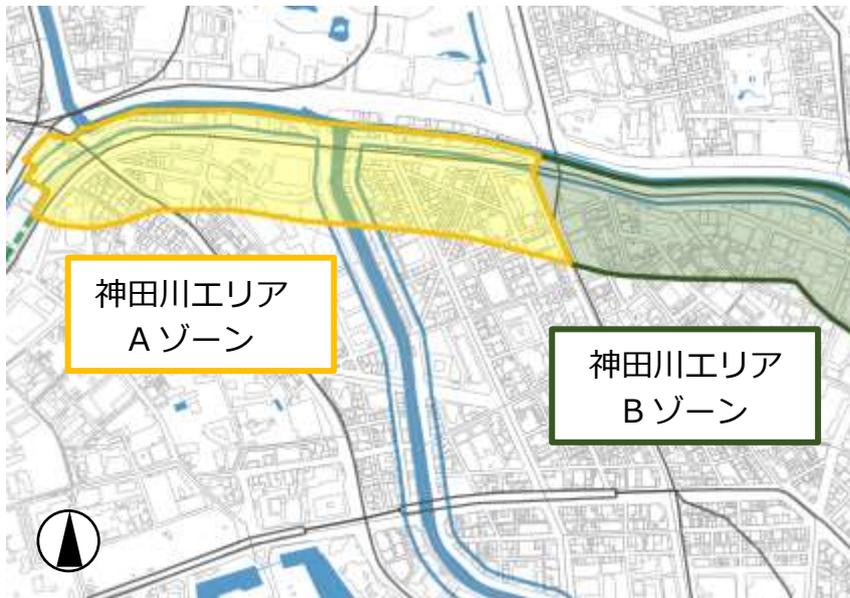
▼図：神田川エリアの取組み方針図



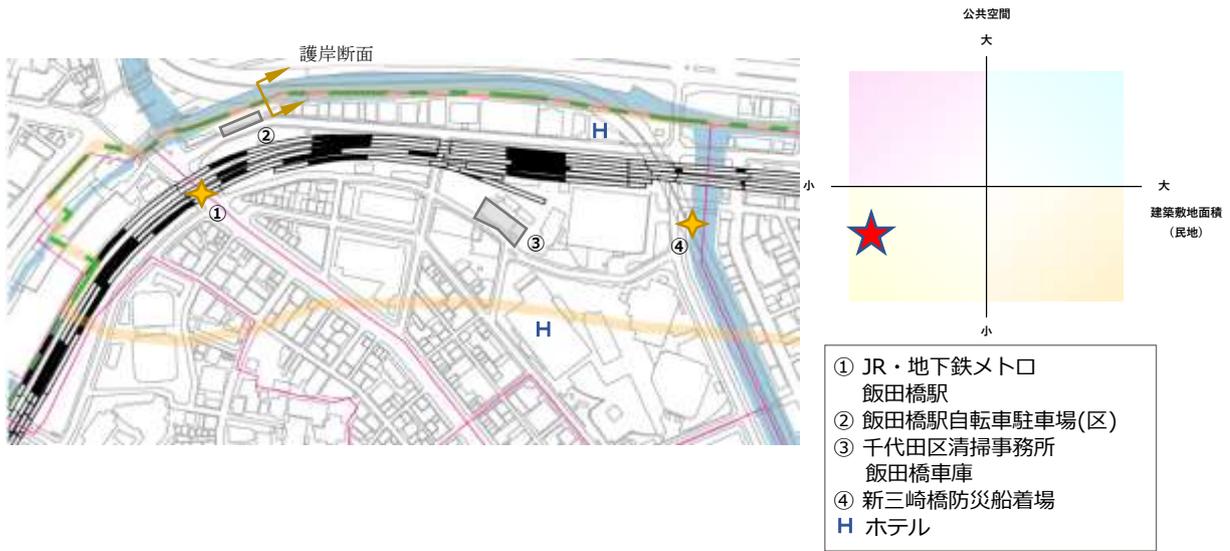
● 神田橋川エリアカルテ

神田橋川を大きく3つのゾーンに分けてカルテを作成します。

▼神田川エリアのゾーン分け図



神田川 Aゾーン (1/2)



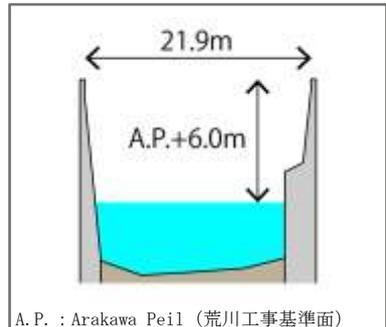
分析

川から 30m	川から 200m		共通課題 30 ページ 地域別課題 32 ページ 全体方針 36 ページ 地域別方針 49 ページ
川沿い状況 <input type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 無	建築敷地の大きさ 南側 ⇒ 大 大 (敷地 2,000 m ² 超) 中 (敷地 500 m ² ~2,000 m ²) 小 (敷地 500 m ² 未満)	資源 <input type="checkbox"/> 神社・寺院 <input type="checkbox"/> 文化財 <input type="checkbox"/> 大規模店舗 <input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (飯田橋駅) () ()	
川沿いの空地空間の有無 <input type="checkbox"/> 広場 <input type="checkbox"/> 敷地内通路	川上空に首都高速道路 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
水辺に近づける場所 <input type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無			

特徴

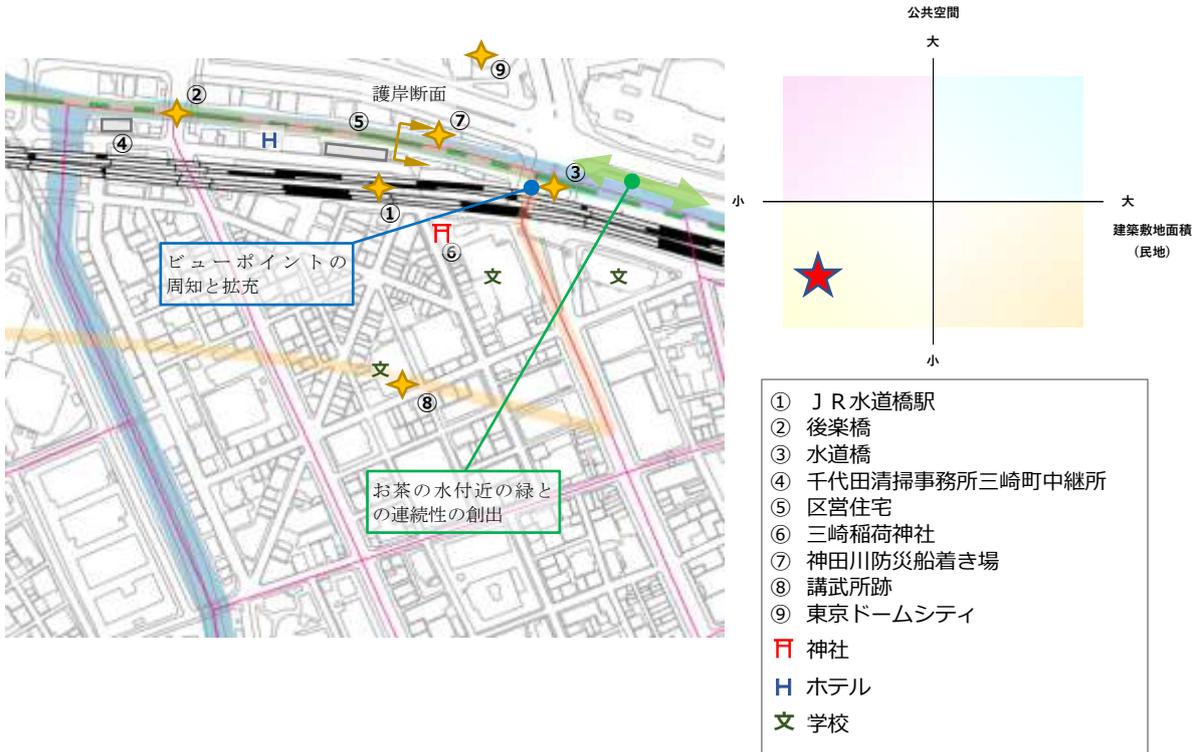
- 川沿いの南側には、狭小敷地が連続しています。敷地は小さいため、川沿いに空間を設けることが困難なゾーンです。
- 千代田区側では、川が見える場所は、橋りょうの周辺のみとなっています。
- 川の上空には首都高速道路がありますが、日本橋川に比べ、水面から首都高速道路まで距離があり、川幅も広いいため、閉鎖感は強く感じません。
- 新三崎橋には、防災船着場があります。

護岸断面図



A. P. : Arakawa Peil (荒川工事基準面)
川幅 21.9 m
護岸高さ 6.0 m

神田川 Aゾーン (2/2)



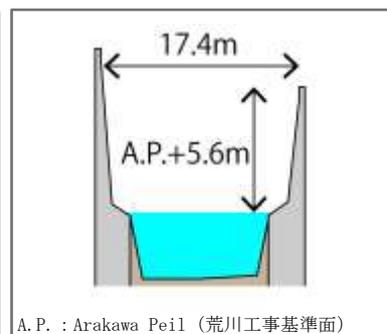
分析

川から 30m	川から 200m		共通課題
川沿い状況 <input type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 無 川沿いの空地空間の有無 <input type="checkbox"/> 広場 <input type="checkbox"/> 敷地内通路 水辺に近づく場所 <input type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無	建築敷地の大きさ 南側 ⇒ 小 大 (敷地 2,000 m ² 超) 中 (敷地 500 m ² ~2,000 m ²) 小 (敷地 500 m ² 未満) 川上空に首都高速道路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	資源 <input checked="" type="checkbox"/> 神社・寺院 <input type="checkbox"/> 文化財 <input type="checkbox"/> 大規模店舗 <input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (水道橋駅) (三崎稻荷神社) ()	30 ページ 32 ページ 36 ページ 49 ページ

特徴

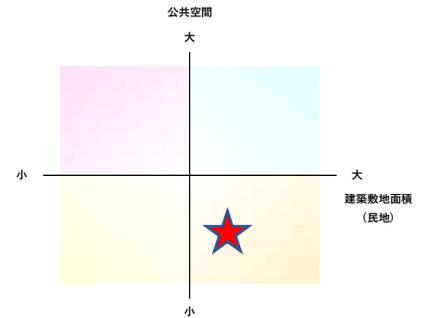
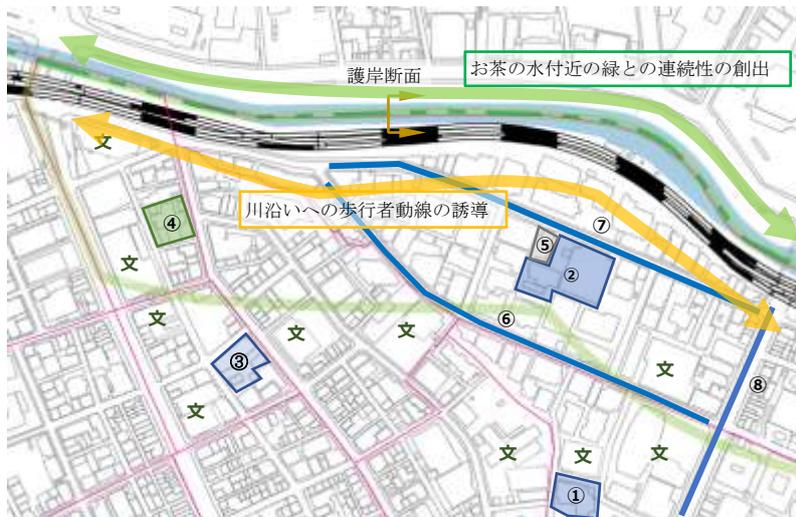
- ・ 狭小敷地が連続しています。敷地が小さいため、川沿いに空間を設けることが困難なゾーンです。
- ・ 水道橋駅周辺は、小規模な建築物が多く立ち並んでいます。土地利用はビジネスと飲食等の店舗が多いゾーンとなっています。また、後樂園や東京ドームがあることから、多様な人が来訪するまちです。
- ・ 川が見える場所は、橋りょうの周辺からのみとなっています。
- ・ 祭りで賑わう三崎稻荷神社があります。
- ・ 学校施設が多いゾーンです。

護岸断面図



川幅 17.4 m
護岸高さ 5.6 m

神田川 Bゾーン (1/2)



- ① 山の上ホテル
- ② 公益社団法人東京都教職員互助会 三楽病院
- ③ カトリック神田教会
- ④ 庭のホテル東京
- ⑤ 御茶の水キリストの教会 区立障害者福祉センター
- ⑥ とちの木通り
- ⑦ かえで通り
- ⑧ 楽器店街
- 文 学校

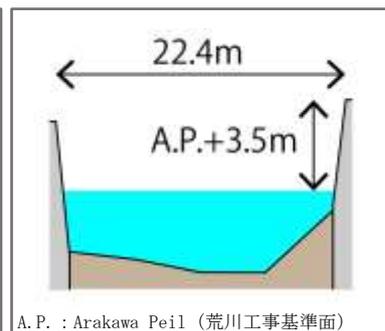
分析

川から 30m	川から 200m		共通課題
川沿い状況 <input type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 無 川沿いの空地空間の有無 <input type="checkbox"/> 広場 <input type="checkbox"/> 敷地内通路 水辺に近づく場所 <input type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無	建築敷地の大きさ 南側 ⇒ 小・中 大 (敷地 2,000 m ² 超) 中 (敷地 500 m ² ~2,000 m ²) 小 (敷地 500 m ² 未満)	資源 <input type="checkbox"/> 神社・寺院 <input checked="" type="checkbox"/> 文化財 (カトリック神田教会) <input type="checkbox"/> 大規模店舗 <input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (山の上ホテル)	30 ページ
	川上空に首都高速道路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	() () ()	32 ページ
			36 ページ
			49 ページ

特徴

- ・土地の高低差があり、「茗溪」と呼ばれる水面から高さ 31mの人口の崖地が特徴の川となっています。
- ・川沿いは、JR 総武線・中央線の線路と敷地が隣接しており、公共空間から川が見える場所は少ないです。
- ・学校が多くあるゾーンです。多くの学生が活動をしており、周辺には飲食店・楽器店なども多くあります。
- ・明大通りやかえで通り、とちの木通りと特徴のある通りがあります。
- ・山の上ホテルや文化財に指定されているカトリック神田教会など、歴史ある建築物も点在しています。

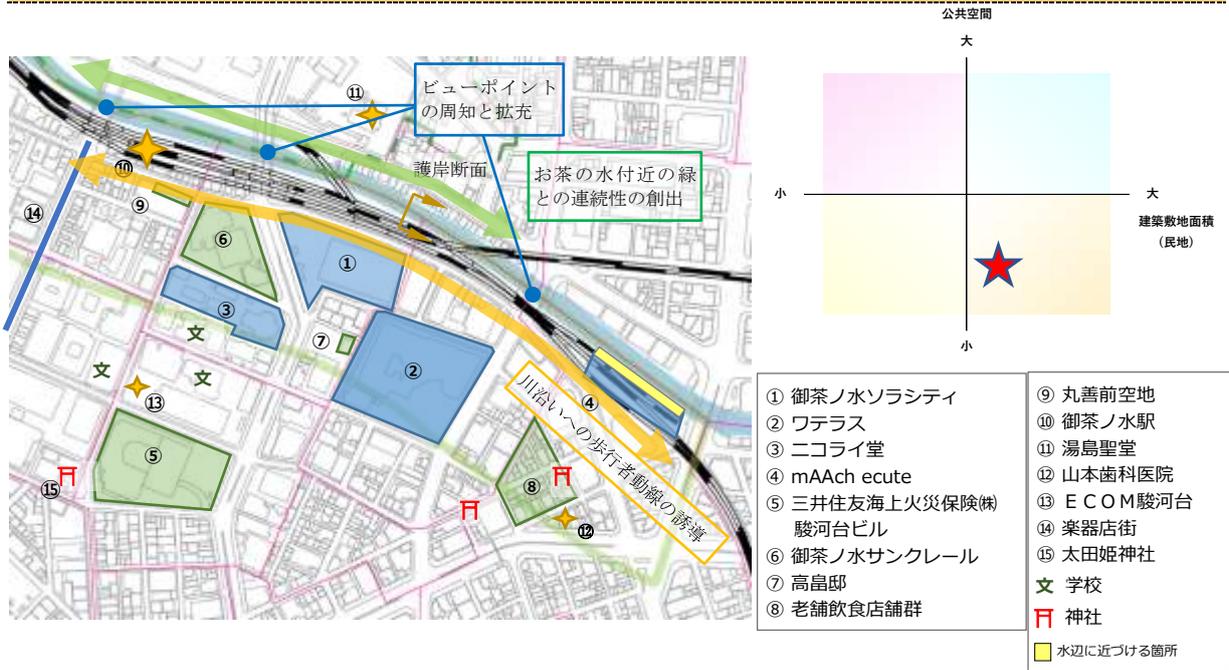
護岸断面図



A.P. : Arakawa Peil (荒川工事基準面)

川幅 22.4 m
護岸高さ 3.5 m

神田川 Bゾーン (2/2)



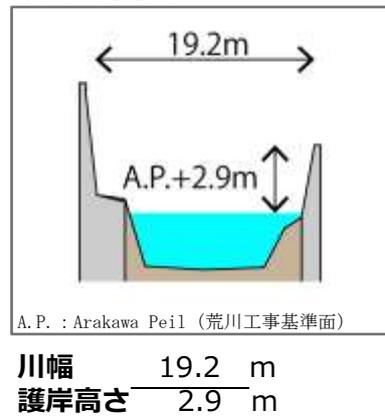
分析

川から 30m	川から 200m		
川沿い状況 <input type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 無 川沿いの空地空間の有無 <input type="checkbox"/> 広場 <input type="checkbox"/> 敷地内通路 水辺に近づける場所 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無	建築敷地の大きさ 南側 ⇒ 大・小 大 (敷地 2,000 m ² 超) 中 (敷地 500 m ² ~2,000 m ²) 小 (敷地 500 m ² 未満) 川上空に首都高速道路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	資源 <input type="checkbox"/> 神社・寺院 <input checked="" type="checkbox"/> 文化財 (ニコライ堂) (山本歯科医院) <input checked="" type="checkbox"/> 大規模店舗 <input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (御茶ノ水ソラシティ) (ワテラス) (mAAch ecute)	共通課題 30 ページ 地域別課題 32 ページ 全体方針 36 ページ 地域別方針 49 ページ

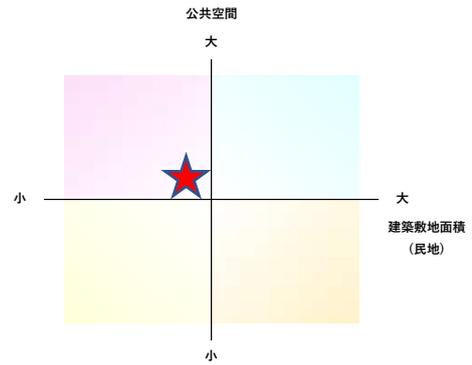
特徴

- 川沿いには、JR 総武線・中央線が走っており、川を見渡せる場所は、橋りょうの周辺のみとなっています。
- 文化財であるニコライ堂・山本歯科医院があり、商業施設が入っている御茶ノ水ソラシティ・ワテラス・御茶ノ水サンクレールがあります。
- JR 御茶ノ水駅付近には、小規模店舗が連なっており、丸善（書店）前の空地を含め、賑わいのある通りとなっています。また、川の反対岸には、湯島聖堂があります。
- 須田町交差点付近には、老舗の飲食店舗が集まっており、歴史風情があるまちとなっています。

護岸断面図



神田川Cゾーン (1/3)



- ① 秋葉原電気街
- ② 神田明神
- ③ 昌平小学校
- ④ 芳林公園
- ⑤ 万世橋出張所
- ⑥ 千代田清掃事務所
- ⑦ 区立昌平橋東橋詰広場
- ⑧ 伊勢谷丹治呉服店跡地
- F 神社
- 文 学校
- 水辺に近づける箇所

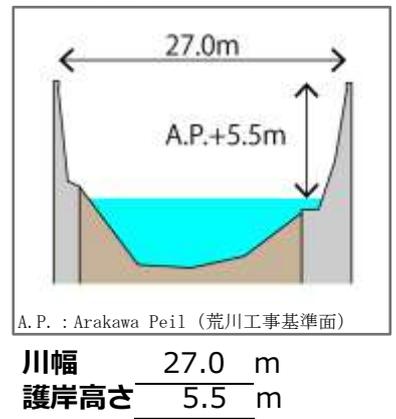
分析

川から 30m	川から 200m		
川沿い状況 <input type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 無 川沿いの空地空間の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 広場 <input type="checkbox"/> 敷地内通路 水辺に近づける場所 <input type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無	建築敷地の大きさ 北側 → 小 大 (敷地 2,000 m ² 超) 中 (敷地 500 m ² ~2,000 m ²) 小 (敷地 500 m ² 未満)	資源 <input type="checkbox"/> 神社・寺院 <input checked="" type="checkbox"/> 文化財 (神田神社) <input type="checkbox"/> 大規模店舗 <input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (秋葉原電気街) (昌平小学校) (芳林公園)	共通課題 30 ページ 地域別課題 32 ページ 全体方針 36 ページ 地域別方針 49 ページ

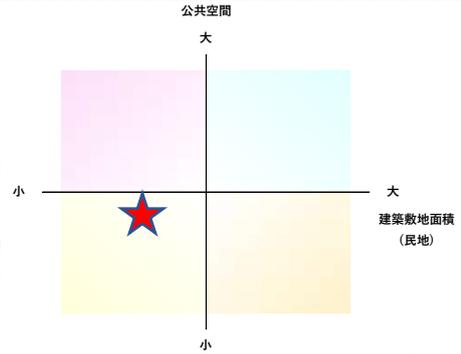
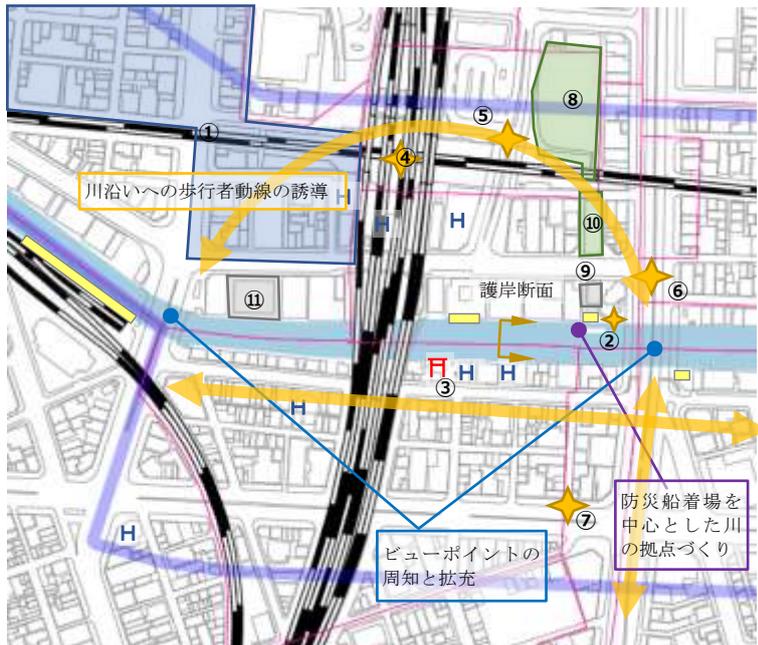
特徴

- ・秋葉原駅から中央通りにかけて、電気街の明るく、賑わいのある街並みが形成されています。国内外を問わず、多くの来訪者が訪れるまちです。
- ・北西の高台に位置する神田明神は、江戸の総鎮守として多くの人々に親しまれており、地域のランドマークとなっています。祭りの時期には、盛大に神田祭りが開催されるなど、地域コミュニティとして欠かせない存在でもあります。
- ・ビジネスパーソン、観光客、地域住民など多種多様な方々が活動する賑わいのあるまちです。
- ・川沿いには小さな敷地が多くあり、川に近づける場所として、mACH ecute の川沿いに設けられたテラス通路があります。

護岸断面図



神田川Cゾーン (2/3)



- ① 秋葉原電気街
 - ② 区立佐久間橋児童遊園・防災船着場
 - ③ 柳森神社
 - ④ JR秋葉原駅
 - ⑤ つくばエクスプレス秋葉原駅
 - ⑥ 地下鉄メトロ秋葉原駅
 - ⑦ 地下鉄メトロ岩本町駅
 - ⑧ ヨドバシカメラ (大規模商業施設)
 - ⑨ 和泉橋出張所
 - ⑩ 区立秋葉原公園
 - ⑪ 万世橋警察署
- F 神社
H ホテル
■ 水辺に近づける箇所

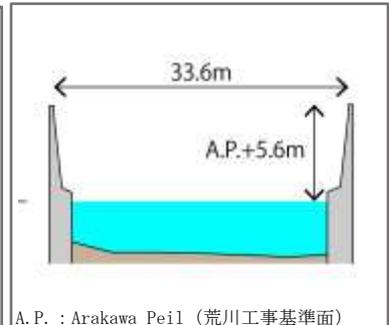
分析

川から 30m	川から 200m		共通課題 30 ページ	
川沿い状況 <input type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 無 川沿いの空地空間の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 広場 <input type="checkbox"/> 敷地内通路 水辺に近づける場所 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無	建築敷地の大きさ 北側 → 小 南側 → 小 大 (敷地 2,000 m ² 超) 中 (敷地 500 m ² ~2,000 m ²) 小 (敷地 500 m ² 未満)	資源 <input checked="" type="checkbox"/> 神社・寺院 <input type="checkbox"/> 文化財 <input checked="" type="checkbox"/> 大規模店舗 <input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (秋葉原電気街) (区立佐久間橋児童遊園) (柳森神社)		地域別課題 32 ページ
	川上空に首都高速道路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			全体方針 36 ページ
				地域別方針 49 ページ

特徴

- ・川沿いは、小規模の建築物が立ち並んでいます。また、川の南側には景観まちづくり重要物件である柳森神社があります。
- ・JR 秋葉原駅、地下鉄秋葉原駅、つくばエクスプレス秋葉原駅など、多くの駅舎があります。また、岩本町駅と秋葉原駅は、乗り換え移動する人の動線があります。
- ・区立佐久間橋児童遊園には、防災船着場があり、水辺にアクセスできる場所となっています。
- ・JR 秋葉原駅周辺には、電気街があり、東口には大規模店舗である家電量販店(ヨドバシカメラ)があります。
- ・川周辺には、多くのホテルがあります。

護岸断面図



川幅 33.6 m
護岸高さ 5.6 m

神田川Cゾーン (3/3)



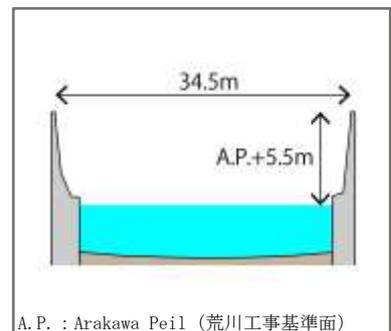
分析

川から 30m	川から 200m		
川沿い状況 <input type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 無 川沿いの空地空間の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 広場 <input type="checkbox"/> 敷地内通路 水辺に近づける場所 <input type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無	建築敷地の大きさ 北側 ⇒ 小 南側 ⇒ 小 大 (敷地 2,000 m ² 超) 中 (敷地 500 m ² ~2,000 m ²) 小 (敷地 500 m ² 未満)	資源 <input checked="" type="checkbox"/> 神社・寺院 <input type="checkbox"/> 文化財 <input type="checkbox"/> 大規模店舗 <input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (区立佐久間公園) (橋詰児童遊園) ()	共通課題 30 ページ 地域別課題 32 ページ 全体方針 36 ページ 地域別方針 49 ページ

特徴

- 川沿いの敷地は、中小規模の民地となっており、建築物が建ち並んだ景観となっています。そのため、公共空間から川が眺められる場所は、橋の周辺のみとなっています。
- 地区計画が定められた地域で、近年では共同住宅が増えてきたエリアとなります。
- 川の北側には区立佐久間公園があり、地域コミュニティにとって、貴重な公園となっています。
- 川に架かっている橋りょうの橋詰広場は、児童遊園や交番などで使われています。

護岸断面図



川幅 34.5 m
護岸高さ 5.5 m

外濠エリア～豊かな水面を活かした人々が水と自然を感じる場所～

● 外濠エリア方針

(1) 外濠を楽しむことができる環境整備

外濠沿いにある児童遊園や外濠公園は外濠を見下ろすことができる位置にあることから、園内に外濠の景観を楽しめる空間を創出するなど、公園を歩いて楽しむ・休憩する空間の充実を図ります。

(2) 周辺大学と連携した水辺の取組みを推進

エリア内に存在する大学と連携し、水辺を活かした学生の取組みや、外濠の水辺に親しむような地域との協働・交流の発信を行う活動を推進します。

(3) 水上アクティビティエリアとしての活用

閉鎖水域である外濠の特性を活かし、外濠の水質の浄化に合わせ、水辺を楽しむ拠点作りと水上アクティビティの推進を図ります。

(4) 周辺区と連携した駅などの拠点から外濠への誘導

周辺区と連携し、外濠に向かうルートのご案内や道路の意匠を統一していくことにより、人々が駅などの拠点から外濠に向かいやすいような環境を推進します。

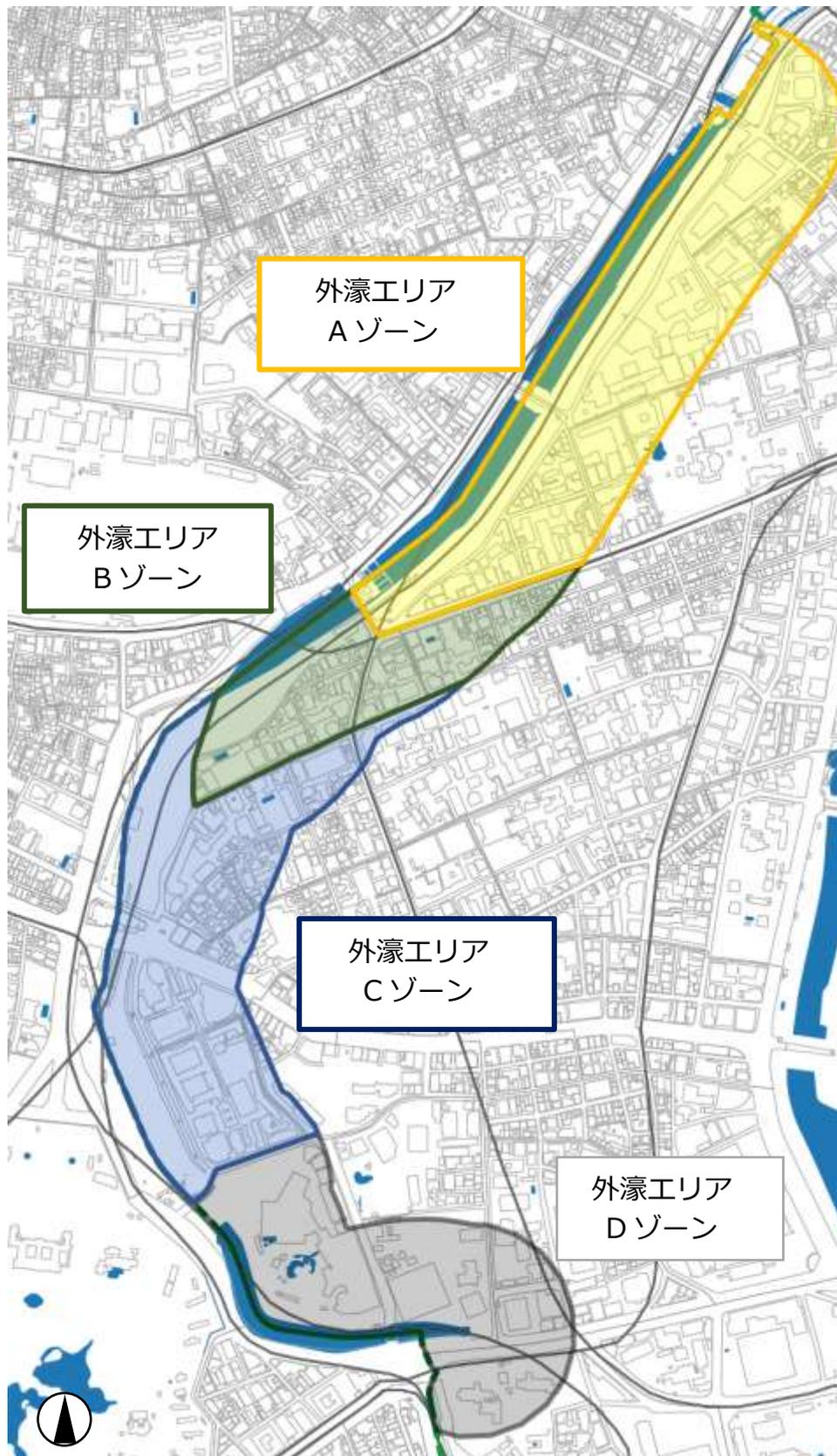
▼図：外濠エリアの取組み方針図



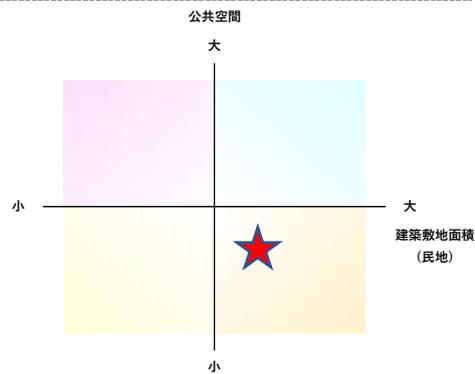
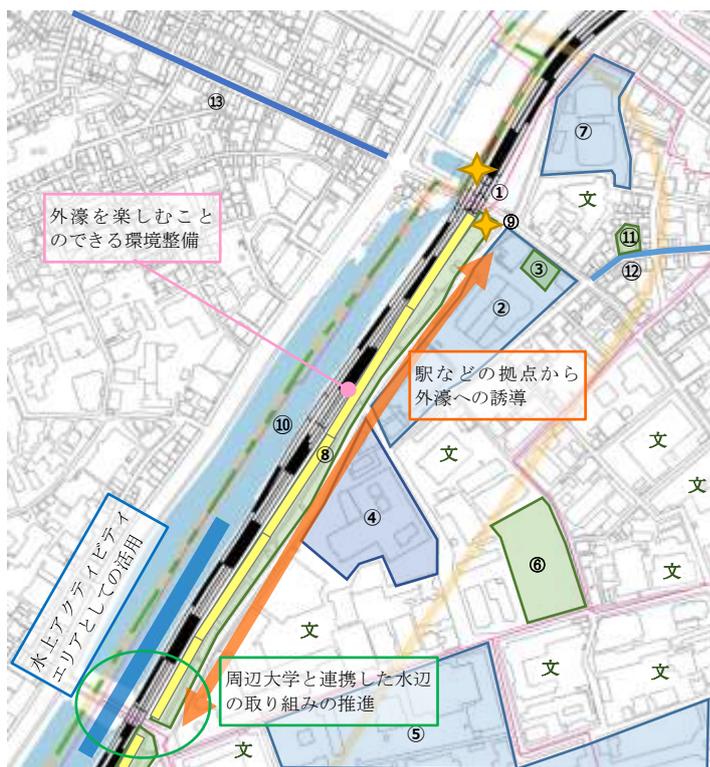
● 外濠エリアカルテ

外濠エリアを大きく4つのゾーンに分けてカルテを作成します。

▼外濠エリアのゾーン分け図



外濠 A ゾーン (1/2)



- ① JR 飯田橋駅
- ② サクラテラス
- ③ 富士見町教会
- ④ 東京通信病院
- ⑤ 靖国神社
- ⑥ ふじみこどもひろば
- ⑦ プラウドタワー千代田富士見
- ⑧ 区立外濠公園
- ⑨ 牛込見附跡
- ⑩ 江戸城外堀跡
- ⑪ 富士見二丁目広場
- ⑫ 大神宮通り
- ⑬ 神楽坂
- 文 学校
- 水辺に近づける箇所

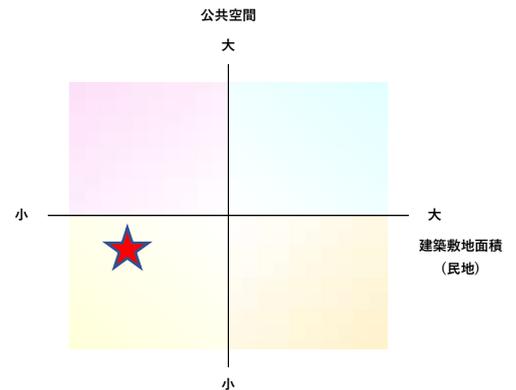
分析

川から 30m	川から 200m		共通課題
<p>川沿い状況</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>川沿いの空地空間の有無</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 広場 <input type="checkbox"/> 敷地内通路</p> <p>水辺に近づける場所</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無</p>	<p>建築敷地の大きさ</p> <p>東側 ⇒ 大</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>大 (敷地 2,000 m²超)</p> <p>中 (敷地 500 m²~2,000 m²)</p> <p>小 (敷地 500 m²未満)</p> </div> <p>川上空に首都高速道路</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	<p>資源</p> <p><input type="checkbox"/> 神社・寺院</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 文化財 (江戸城外堀跡)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 大規模店舗 (サクラテラス)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (JR 飯田橋駅) (靖国神社) (東京通信病院)</p>	<div style="background-color: #92d050; padding: 5px; text-align: center;">30 ページ</div> <div style="background-color: #92d050; padding: 5px; text-align: center;">31 ページ</div> <div style="background-color: #92d050; padding: 5px; text-align: center;">36 ページ</div> <div style="background-color: #92d050; padding: 5px; text-align: center;">59 ページ</div>

特徴

- ・ 史跡である江戸城外堀跡や牛込見附の枡形門の石垣が存在しています。
- ・ 川沿いは、区立外濠公園と JR 中央線・総武線の線路があり、区立外濠公園から電車と川が見える環境となっています。
- ・ サクラテラスのような大規模な複合施設や東京通信病院、数多くの学校施設と様々な機能が集積しています。多様な人が行き交う特色があります。
- ・ 大神宮通りは、商店街、富士見二丁目広場、その先には、東京大神宮があり、地域の活力として欠かせない場となっています。

外濠 Aゾーン (2/2)



- ① JR市ヶ谷駅
- ② 地下鉄市ヶ谷駅
- ③ 区立外濠公園
- ④ 江戸城外堀跡
- ⑤ 市ヶ谷門跡
- ⑥ 靖国通り
- ⑦ 区立東郷元師記念公園
- 文 学校
- 水辺に近づく箇所

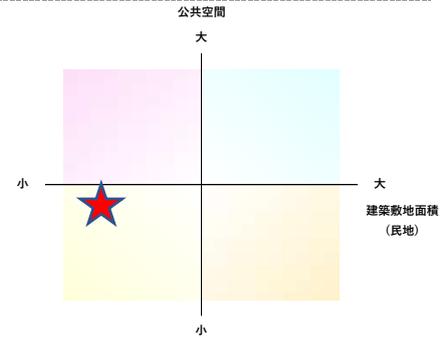
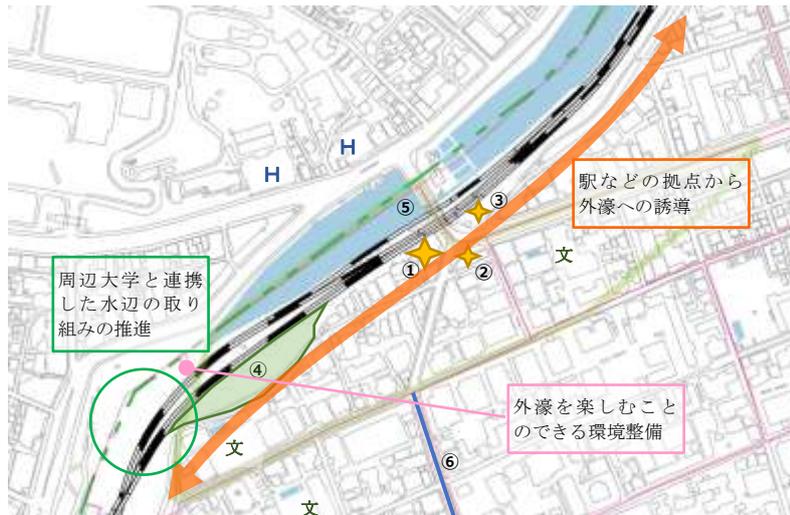
分析

川から 30m	川から 200m		
川沿い状況 <input type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 無 川沿いの空地空間の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 広場 <input type="checkbox"/> 敷地内通路 水辺に近づく場所 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無	建築敷地の大きさ 東側 ⇒ 小 大 (敷地 2,000 m ² 超) 中 (敷地 500 m ² ~2,000 m ²) 小 (敷地 500 m ² 未満) 川上空に首都高速道路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	資源 <input type="checkbox"/> 神社・寺院 <input checked="" type="checkbox"/> 文化財 (江戸城外堀跡) (市ヶ谷門跡) <input type="checkbox"/> 大規模店舗 <input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (JR市ヶ谷駅) (地下鉄市ヶ谷駅) ()	共通課題 30 ページ 地域別課題 31 ページ 全体方針 36 ページ 地域別方針 59 ページ

特徴

- ・ 史跡である江戸城外堀跡や市ヶ谷門跡の石垣が存在しています。
- ・ 川沿いは、区立外濠公園と JR 中央線・総武線の線路があり、区立外濠公園から電車と川が見える環境となっています。
- ・ 市ヶ谷駅から九段下駅は、靖国通りでつながっています。途中には、靖国神社、千鳥ヶ淵緑道、日本武道館（北の丸公園）と人が訪れる場が多く存在します。

外濠 B ゾーン



- ① JR市ヶ谷駅
- ② 地下鉄市ヶ谷駅
- ③ 市ヶ谷門跡
- ④ 区立五番町児童遊園
- ⑤ 江戸城外堀跡
- ⑥ 日テレ通り
- 文 学校

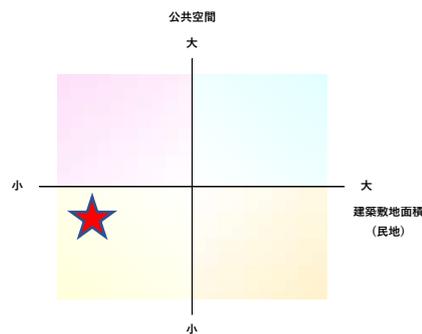
分析

川から 30m	川から 200m		
川沿い状況 <input type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 無 川沿いの空地空間の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 広場 <input type="checkbox"/> 敷地内通路 水辺に近づける場所 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無	建築敷地の大きさ 東側 ⇒ 小 大 (敷地 2,000 m ² 超) 中 (敷地 500 m ² ~2,000 m ²) 小 (敷地 500 m ² 未満)	資源 <input type="checkbox"/> 神社・寺院 <input checked="" type="checkbox"/> 文化財 (江戸城外堀跡) (市ヶ谷門跡) <input type="checkbox"/> 大規模店舗 <input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (JR市ヶ谷駅) (区立五番町児童遊園) ()	共通課題 30 ページ 地域別課題 31 ページ 全体方針 36 ページ 地域別方針 59 ページ

特徴

- ・ 史跡である江戸城外堀跡や市ヶ谷門跡の石垣が存在しています。
- ・ 川沿いは、区立五番町児童遊園と民地、その脇にJR中央線・総武線の線路があります。区立五番町児童遊園が唯一の川を見ることができる場所となっています。
- ・ 土地に高低差があり、麴町大通りに向かって高くなっています。

外濠Cゾーン (1/2)



- ① JR 四ツ谷駅
- ② 四ツ谷見附跡
- ③ 区立外濠公園
- ④ 上智大学真田堀グラウンド
- ⑤ 上智大学
- ⑥ 聖イグナチオ教会
- ⑦ 仲良し公園
- ⑧ 新宿通り/麴町大通り
- ⑨ 区立五番町児童遊園
- 文 学校
- 卍 寺院

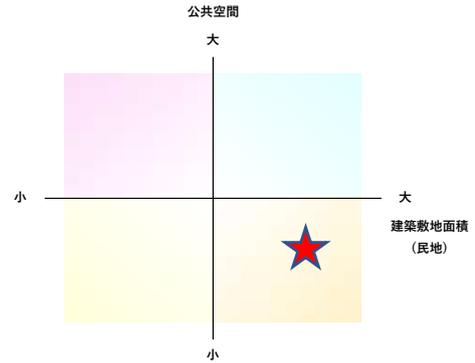
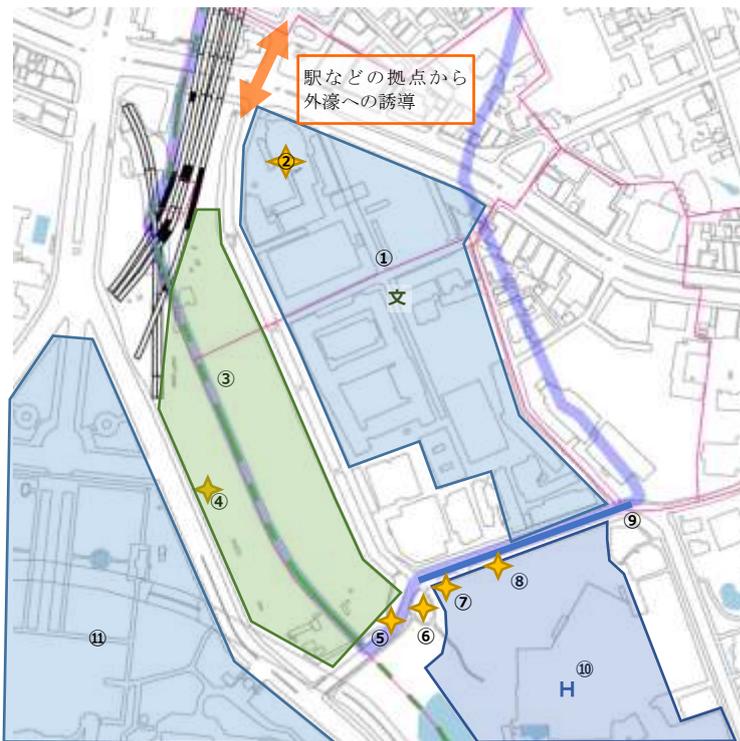
分析

川から 30m	川から 200m		共通課題
<p>川沿い状況</p> <p><input type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>川沿いの空地空間の有無</p> <p><input type="checkbox"/> 広場 <input type="checkbox"/> 敷地内通路</p> <p>水辺に近づく場所</p> <p><input type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無</p>	<p>建築敷地の大きさ</p> <p>東側 ⇒ 中・小</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>大 (敷地 2,000 m²超)</p> <p>中 (敷地 500 m²~2,000 m²)</p> <p>小 (敷地 500 m²未満)</p> </div> <p>川上空に首都高速道路</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	<p>資源</p> <p><input type="checkbox"/> 神社・寺院</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 文化財 (江戸城外堀跡) (四ツ谷見附跡)</p> <p><input type="checkbox"/> 大規模店舗</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (JR四ツ谷駅) (上智大学) ()</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #92d050; color: white; text-align: center;">30 ページ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #92d050; color: white; text-align: center;">31 ページ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #92d050; color: white; text-align: center;">36 ページ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #92d050; color: white; text-align: center;">59 ページ</div>

特徴

- ・濠は、埋め立てられグラウンド等があり、人の活動の場となっています。濠の水は無くなりましたが、土手が旧地形に基づき構築されており、当時の形や規模を体感できます。
- ・史跡である江戸城外堀の跡や四ツ谷見附跡の石垣が存在しています。
- ・上智大学、雙葉学園などの学校施設があり、麴町大通り沿いは、事務所ビルが立ち並んだ街並みとなっています。学生からビジネスパーソンまで多くの人が行き交うまちです。また、閑静な住宅ゾーンもあり、住居地域の特色も持ち合わせています。

外濠Cゾーン (2/2)



- ① 上智大学
- ② 聖イグナチオ教会
- ③ 上智大学真田堀グラウンド
- ④ 都電真田堀専用軌道跡
- ⑤ 喰違見附跡・喰違木戸跡
- ⑥ 近江彦根藩井伊家屋敷跡
- ⑦ 旧梨本官邸門跡
- ⑧ 開業 25 周年記念ガス燈
- ⑨ 紀尾井坂
- ⑩ ホテルニューオータニ
- ⑪ 迎賓館
- 文 学校

分析

川から 30m	川から 200m		
<p>川沿い状況</p> <p><input type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>川沿いの空地空間の有無</p> <p><input type="checkbox"/> 広場 <input type="checkbox"/> 敷地内通路</p> <p>水辺に近づける場所</p> <p><input type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無</p>	<p>建築敷地の大きさ</p> <p>東側 ⇒ 大</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>大 (敷地 2,000 m²超)</p> <p>中 (敷地 500 m²~2,000 m²)</p> <p>小 (敷地 500 m²未満)</p> </div> <p>川上空に首都高速道路</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	<p>資源</p> <p><input type="checkbox"/> 神社・寺院</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 文化財 (江戸城外堀跡) (喰違見附跡等)</p> <p><input type="checkbox"/> 大規模店舗</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (JR四ツ谷駅) (上智大学) ()</p>	<p>共通 課題 30 ページ</p> <p>地域別 課題 31 ページ</p> <p>全体 方針 36 ページ</p> <p>地域別 方針 59 ページ</p>

特徴

- ・濠は、埋め立てられグラウンド等があり、人の活動の場となっています。濠の水は無くなりましたが、土手が旧地形に基づき構築されており、当時の形や規模を体感できます。
- ・紀尾井坂付近には、歴史を感じる史跡が多く存在しています。
- ・また、迎賓館やホテルニューオータニ、上智大学と大規模敷地が隣接した街並みとなっています。

外濠Dゾーン



分析

川から 30m	川から 200m		
川沿い状況 <input type="checkbox"/> 道路 → 車路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 無 川沿いの空地空間の有無 <input type="checkbox"/> 広場 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地内通路 水辺に近づく場所 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → 連続性 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 無	建築敷地の大きさ 東側 ⇒ 大 大 (敷地 2,000 m ² 超) 中 (敷地 500 m ² ~2,000 m ²) 小 (敷地 500 m ² 未満)	資源 <input type="checkbox"/> 神社・寺院 <input checked="" type="checkbox"/> 文化財 (江戸城外堀跡) (赤坂見附跡) <input type="checkbox"/> 大規模店舗 <input checked="" type="checkbox"/> その他スポット (ホテルニューオータニ) (紀尾井タワー) ()	共通課題 30 ページ 地域別課題 31 ページ 全体方針 36 ページ 地域別方針 59 ページ

特徴

- ・濠沿いは、複数の大規模ホテルが集まったゾーンとなっています。
- ・紀尾井タワーの濠沿いには紀尾井テラスがあり、水辺を上から眺めながら歩ける貫通通路が設けられています。さくら等の季節を感じる樹木もあり、憩いの場となっています。
- ・その他、区立清水谷公園やホテルニューオータニの日本庭園など、自然あふれる環境となっています。
- ・地下鉄メトロ永田町駅、赤坂見附駅が隣接しています。

川沿いを、開放的で質の高い空間にしていくためには、「つながり」のあるまちづくりが求められます。川沿いは、道路や広場または民地等、状況はさまざまですが、その先の後背地となる市街地までの「つながり」をもたせることが大切です。

水面から水辺、その先の市街地まで「つながり」が生まれると、まちの賑わいから川沿いへウオーカブルな空間となります。

1 開放的な水辺空間の形成

(1) 水面とまちのつながりについて

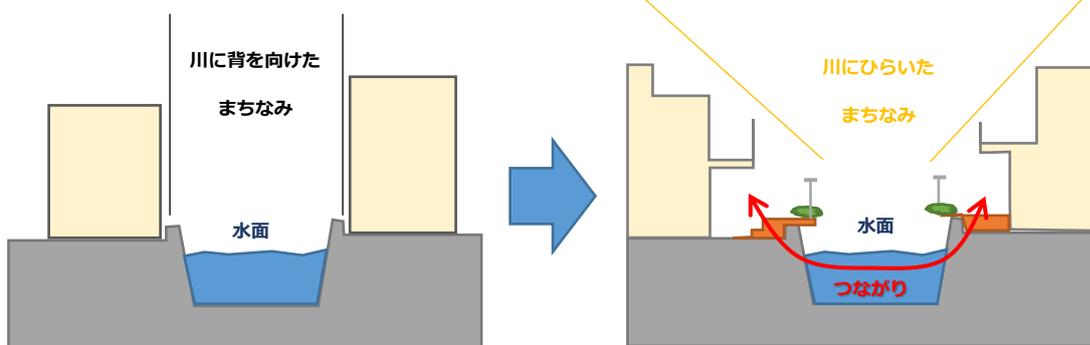
まちづくりや建築計画を進める際には、川とまちの「つながり」を考えることが重要となります。

- 水面と対岸同士のつながりについて

水面を基軸に両岸につながりをもたせ、川に開いた街並みを形成します。

(B) 水辺空間	(A) 水面	(B) 水辺空間
<ul style="list-style-type: none"> ・川が視認しやすい柵のデザイン ・川に顔を向けた建築物 ・歩行空間・賑わい空間の創出 ・建築物の上または中から川を視認できる間取り 	<p>対岸同士の つながり</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・川が視認しやすい柵のデザイン ・川に顔を向けた建築物 ・歩行空間・賑わい空間の創出 ・建築物の上または中から川を視認できる間取り

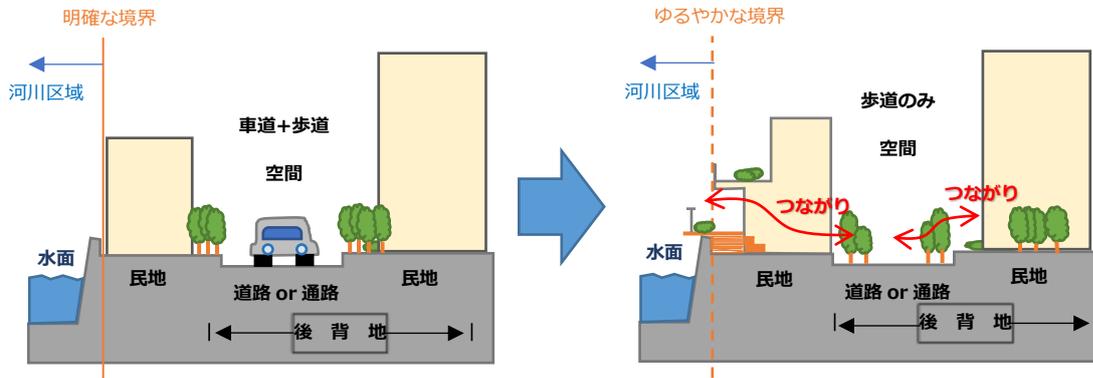
(例)



- 水面から水辺、さらに後背地までのつながりについて
水面から水辺、その裏の後背地までつながりある空間を形成します。

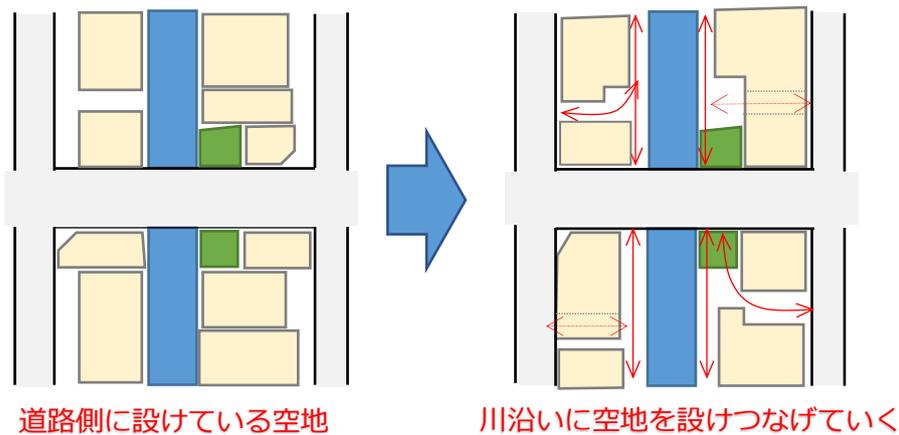
(A) 水面	支援	(B) 水辺空間	支援	(C) 後背地
川を積極的に使う	←	水面と水辺空間の関係につながりをもたせることで川を開けた空間とする。	←	川と水辺空間を支える。市街地と水辺空間をつなげる役割を担う。

(例)



- 川沿いの空間の連続性
開放的な川沿いの空間をつなげていき連続性をもたせます。

(例)



(2) 川沿いの建築計画を検討する際の要点

川沿いで建築計画を進める際には、次の3つの要点に配慮し検討をしてください。

要点1 川に顔を向けた建築計画をする。

- ・川沿いに建築設備や屋外階段を配置する場合は、修景する。
- ・建築物内の人の活動が感じられるよう配慮した計画とする。

要点2 開放的な水辺空間を創出する。

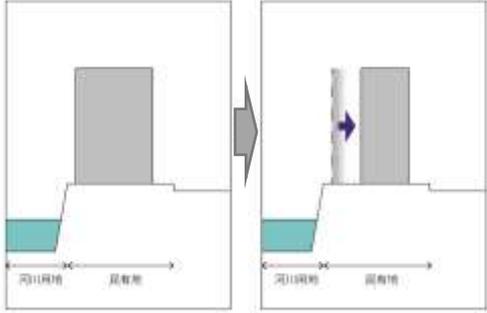
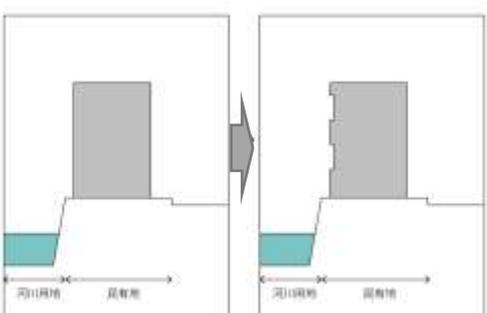
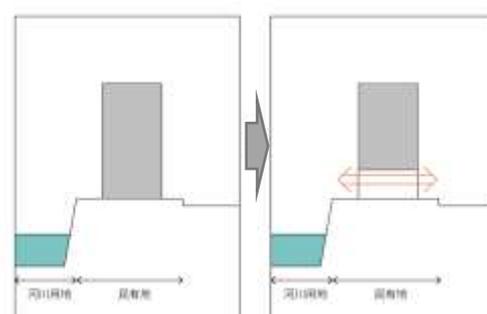
- ・水辺空間に空地を設けた配置とする。
- ・隣接建築物と間隔を設け、建て詰まりを解消する。
- ・後背地である道路等から水辺まで、近づける場所を設ける。

要点3 つながり・連続性をもたせる。

- ・開放的な川沿いの空間につながりをもたせる。
- ・まちの賑わいや後背地とのつながりを大事にする。

(3) 開放的な水辺空間の形成手法について

開放的な水辺空間を形成するための手法を示します。敷地の規模、周辺環境、その他条件にあった形成手法を選択することが大切です。また、形成手法は、建築・建造技術の進歩により増えていくことが想定されます。なお、この形成手法は、あくまで参考事例としての記載であり、計画毎に最善の手法を選択する必要があります。

1. 壁面後退	対象規模 (<input checked="" type="checkbox"/> 大規模 <input checked="" type="checkbox"/> 中規模 <input type="checkbox"/> 小規模)
	<ul style="list-style-type: none"> ・川と民地の官民境界から壁面を後退させることで、空地を創出する。 ◎川沿いの建築物の建て詰まりを解消できる。 ▲建築基準法の道路斜線制限が厳しくなるため、緩和などの検討が必要となる。 ▲壁面線を後退させることでのメリットが必要となる。
2. 川に顔を向けた建築物	対象規模 (<input checked="" type="checkbox"/> 大規模 <input checked="" type="checkbox"/> 中規模 <input checked="" type="checkbox"/> 小規模)
	<ul style="list-style-type: none"> ・川沿いに室外機や屋外階段などを設置しない。 ・川側に居室を設けた間取りとする。 ◎建築物内の人々が、川を生活に身近に感じることができる。 ◎建築物内からのあたたかい暮らしの明かりが、川を照らす。 ◎川の閉塞感を解消できる。
3. 通り抜け空間の確保	対象規模 (<input checked="" type="checkbox"/> 大規模 <input checked="" type="checkbox"/> 中規模 <input type="checkbox"/> 小規模)
	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物の低層部に、川を眺められる位置まで通じる貫通通路を設ける。 ◎川のイメージ向上に貢献できる。 ◇誰もが利用できる環境が望ましい。

(凡例) ・手法の説明 ◎川沿いに与える効果内容 ◇さらに望ましい内容 ▲要検討内容

4. 防災船着場の拡充	対象規模 (<input checked="" type="checkbox"/> 大規模 <input type="checkbox"/> 中規模 <input type="checkbox"/> 小規模)
	<ul style="list-style-type: none"> ・水面へのアクセスポイントを創出する。 ◎非常時は、防災活動の場として活躍する。 (防災面の向上) ◎安心・安全を確保した上で、平常時は川を活用した取組みに寄与する。 (遊び場への貢献) ◇「3.通り抜け空間の確保」「5.川に面したピロティ」等を設けると望ましい。

5. 川に面したピロティ	対象規模 (<input type="checkbox"/> 大規模 <input checked="" type="checkbox"/> 中規模 <input checked="" type="checkbox"/> 小規模)
	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた敷地内において、半屋外空間を川沿いに設ける。 ◎川沿いに日常活動の動線が生まれる。 (川のイメージ向上に貢献)

6. 船着場の整備	対象規模 (<input checked="" type="checkbox"/> 大規模 <input type="checkbox"/> 中規模 <input type="checkbox"/> 小規模)
	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模開発時に船着場を設置し、アクティビティの場として活用する。 ◎川での遊び場として活用できる。(賑わい・観光に貢献) ◎川沿い空間の活用の幅を広げる。(川に開いたまちづくりに貢献) ◎川の魅力を発信する拠点となる。(拠点を結ぶネットワークに貢献) ▲水面での活動について、管理者等と協議が必要となる。

(凡例) ・手法の説明 ◎川沿いに与える効果内容 ◇さらに望ましい内容 ▲要検討内容

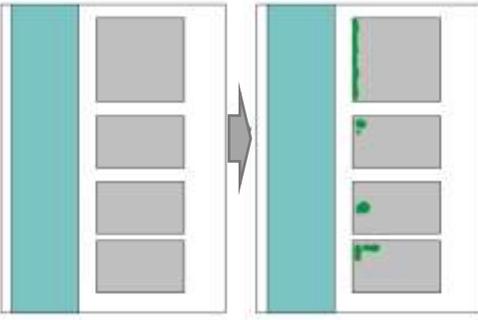
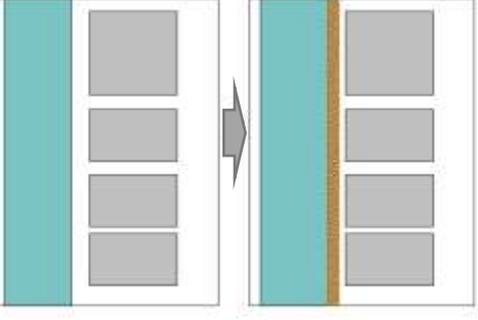
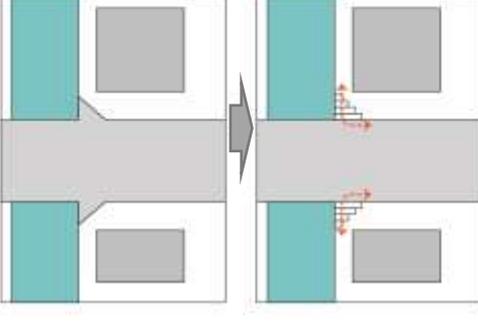
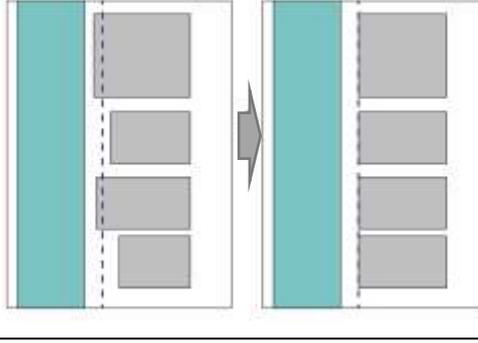
7. 親水テラス	対象規模 (<input checked="" type="checkbox"/> 大規模 <input type="checkbox"/> 中規模 <input type="checkbox"/> 小規模)
	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺に近づけるテラスを設ける。 ◎川をより身近に感じる場として、川のイメージ向上に貢献できる。 ◎人々の憩いの場として活用できる。

8. 隣棟間を空ける	対象規模 (<input checked="" type="checkbox"/> 大規模 <input type="checkbox"/> 中規模 <input type="checkbox"/> 小規模)
	<ul style="list-style-type: none"> ・隣棟間を空ける。 ◎川沿いの閉塞空間を解消できる。 ◎隣棟間の空地は、建築物の低層部の賑わいの場、憩いの場として活用できる。

9. 護岸の緑化	対象 (<input checked="" type="checkbox"/> 大規模 <input checked="" type="checkbox"/> 中規模 <input checked="" type="checkbox"/> 小規模)
	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地帯を連続で設置する。 ◎生物多様性に貢献できる。 ◎景観の向上に寄与する。 ◇川が見えない植栽とならないことが望ましい。

10. 隣地間の空間を一体的に整備	対象規模 (<input checked="" type="checkbox"/> 大規模 <input checked="" type="checkbox"/> 中規模 <input type="checkbox"/> 小規模)
	<ul style="list-style-type: none"> ・隣棟間で出来た空き地を一体的に整備する。 ▲隣地間で連携を取った管理体制が必要となる。

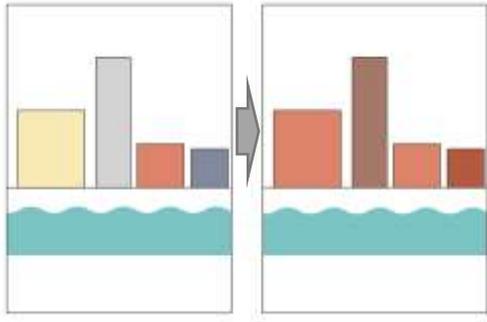
(凡例) ・手法の説明 ◎川沿いに与える効果内容 ◇さらに望ましい内容 ▲要検討内容

<p>11. 沿道建築物上の緑化 対象規模 (<input checked="" type="checkbox"/>大規模 <input checked="" type="checkbox"/>中規模 <input type="checkbox"/>小規模)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築物上に植栽帯を連続で設ける。 ◎ 立ち並ぶ建築物に統一感が生まれ、景観の向上に寄与する。 ◇ 水面やビューポイントから見える低層部に設けることが望ましい。
<p>12. 歩道の連続的整備 対象規模 (<input checked="" type="checkbox"/>大規模 <input checked="" type="checkbox"/>中規模 <input type="checkbox"/>小規模)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民地内に連続した歩道上空地を設ける。 ◎ 水辺空間の連続性に貢献できる。 ◇ 誰もが通れる環境が望ましい。 ◇ 「2.川に顔を向けた建築物」、「5.川に面したピロティ」を合わせて計画することが望ましい。 ◇ 民地間の仕上げ材、落下防止柵は統一したデザインが望ましい。
<p>13. 橋詰広場の整備 対象 (<input checked="" type="checkbox"/>大規模 <input checked="" type="checkbox"/>中規模 <input checked="" type="checkbox"/>小規模)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水辺空間の連続性の始まりの場を整備する。 ◇ 橋詰広場と民地には境界を設けず、一体的な整備が望ましい。 ◇ 「7.親水テラス」のような水辺に近づく場を設けると望ましい。 ▲ 公共の場として限定的な使用のみとなる。 ▲ 管理者、所有者と協議が必要となる。
<p>14. 川沿いの壁面線の統一化 対象規模 (<input type="checkbox"/>大規模 <input type="checkbox"/>中規模 <input checked="" type="checkbox"/>小規模)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 限られた敷地内で、隣接建築物の壁面位置を合わせる。 ◎ 水辺空間の連続性に貢献できる。 ◇ 「2.川に顔を向けた建築物」「16.川沿いの外壁デザインをつなげる」と合わせて計画することが望ましい。

(凡例) ・ 手法の説明 ◎ 川沿いに与える効果内容 ◇ さらに望ましい内容 ▲ 要検討内容

15. 川沿いの外壁デザインの統一化

対象規模（大規模 中規模 小規模）



・川沿いの外壁デザイン（色彩等）を揃える。

◎敷地の大きさに関係なく、取組みが可能である。

◎水辺空間の連続性に貢献できる。

◇「15.川沿いの壁面線の統一化」と合わせて計画することが望ましい。

（凡例） ・手法の説明 ◎川沿いに与える効果内容 ◇さらに望ましい内容 ▲要検討内容

2 川沿いまちづくりの理想像 モデル検討

開放的な水辺空間の形成手法の理想像を4つの事例を示します。

- パターン① 川沿いの街区で大規模開発をする際の理想像
- パターン② 川沿いの民地内に敷地内通路を設けた理想像
- パターン③ 狭小敷地が連なった環境での理想像
- パターン④ 公共建築物の建て替え時を想定した理想像

パターン① 大規模開発をする際の川沿いの理想像

イラスト図を予定

- ・水面へのアクセスポイントを描く
- ・民地内で川又は水で遊べる場を描き、楽しんでいる人を描く
- ・まちの動線や活動とのつながりを設ける
- ・川沿いに一定の空地・緑地を設け、安らいでいる人を描く
- ・日本橋川沿いの開発を想定。(なお、高速道路はない絵とする。)

説明文を予定

パターン② 川沿いの民地内に敷地内通路を設けたモデル図

イラスト図を予定

川沿いに一定空間の民地内に通路を設けている絵。
風を感じ人が休む、散歩する様子を描く。
橋詰広場とも通路は繋がっている絵とする。
数か所 1 階店舗が川に向いている建築物を描き、川沿いににぎわいを創出させたい。

説明文を予定

パターン③ 狭小敷地が連なった場合の理想像（川沿いに一定空間の通路を設けるのが難しい場合）

イラスト図を予定

- ・川沿いの建築物は、川によってはいるが、壁面の位置を揃えている様子を描く
- ・外壁の色見を統一、または同系色で描く。
- ・建築物の中から、川が眺められる場所があるのが分かるものとする。

例) 1階・2階店舗から見える開口部があったり

3階・4階のテラスまたはバルコニーから眺められる

説明文を予定

パターン④ 公共建築物の建て替え時を想定したイメージ図

イラスト図を予定

低層部は商業施設にして、上層部に公共機能をもってくる。
低層部の商業施設には、川で遊ぶ拠点設ける。
建築物は大規模でなく、中規模程度としたい。

説明文を予定

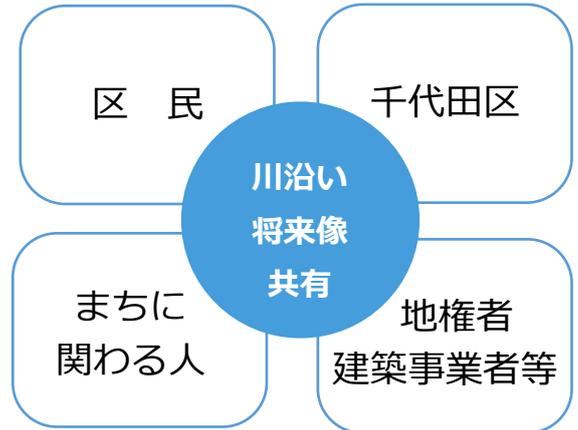
1 川沿いのまちづくりガイドラインの推進に向けて

(1) 川沿いのまちづくりガイドラインの活用について

・ガイドラインの重要なポイント

ガイドラインは、川や川沿いを魅力ある空間にするために、千代田区民や関わりのある多様な人々と川沿いの全体ビジョン（将来像）を定め、方針等を示しています。定めた将来像・方針等を川沿いの地権者又は建築事業者等に共有し、一緒にまちづくりを進めていくためのガイドラインです。

少しずつ川に開けた場所をつくり、川を見て感じられる場所をつなげ、最終的には遊びの場をつくり、川を楽しめる空間としていきます。



・ガイドラインの活用方法について

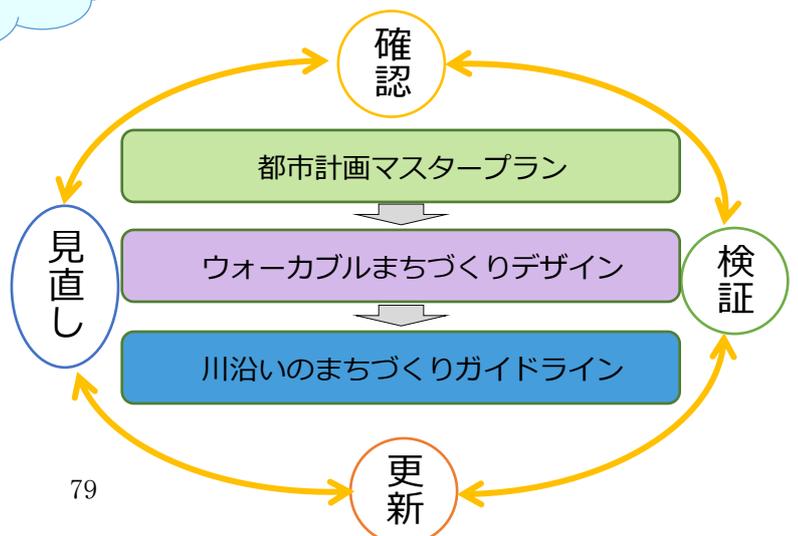
川の周辺で行われる建築行為等に対しては、「景観の事前協議」の際に、ガイドラインを活用し、千代田区と地権者又は建築事業者等で建築計画がガイドラインの方針にあっているか、手法が活用できないか協議します。



景観まちづくり計画と各ガイドライン等

・定期的な更新について

上位計画の見直しに合わせて、川沿いのまちづくりガイドラインを更新します。現状のまちづくりについて確認、検証し、将来像に変化がないかを検討します。



(2) 川沿いのまちづくりガイドラインの推進について

川沿いを魅力ある空間にするためには、千代田区だけでなく、様々な主体がそれぞれの役割分担のもと全体ビジョンの実現に向け取り組んでいく必要があります。

・千代田区民、民間企業等との連携

千代田区民または地域によるエリアマネジメント活動や、民間企業等による川への取組みが実施しやすいように、「エリアマネジメント活動推進ガイドライン」を作成し、環境を整備していきます。

千代田区エリアマネジメント活動推進ガイドラインについて

千代田区は、様々な主体の力を集約して、地域自らがその地域の価値を向上させる活動にチャレンジできるようにするため「千代田区エリアマネジメント活動推進ガイドライン」を作成しています。(令和4年度作成中)

千代田区のエリアマネジメント活動に対する考え方を示すとともに、地域の一人ひとりが実施主体となり、企業・団体・行政等と連携しながら、まちを使いこなすための各種制度等や事例等を示しています。

・東京都・隣接区との連携

川は、複数の自治体を縫うように通っています。そのため、隣接する自治体間で連携や情報共有をしながら、川沿いのまちづくりを進めていくことは大切なポイントです。より良い川沿いの環境につながるよう、東京都・隣接区と連携を図りながら推進していきます。

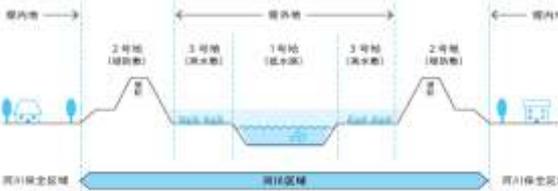
また、東京都の「外濠浄化に向けた基本計画」等による川の水質改善の取組みは、協力して推進していきます。

2 現制度について

川沿いのまちづくりを進めるために関係する法律や制度には以下のものがあります。

河川の使用等の基本的な事項

▼表：河川の使用等の基本的な事項の例

名称	概要
河川の使用	<p>河川の使用については、自由使用と特別使用があり、土地の占用等は特別使用となり河川管理者の許可が必要になります。</p>  <p>河川使用の種類 (資料：ミズベリング事務局)</p>
河川区域	<p>基本的に、堤防に挟まれた区間が河川区域となります。</p>  <p>河川区域の模式図 (資料：ミズベリング事務局)</p>
河川管理者	<p>河川管理者は、川の治水・利水・環境整備の計画や、工事、維持管理を行います。</p> <p>日本橋川、神田川は東京都及び千代田区が管理していますが、千代田区内の河川占用等の事務手続き等は千代田区が行っています。</p>

法律・条例等

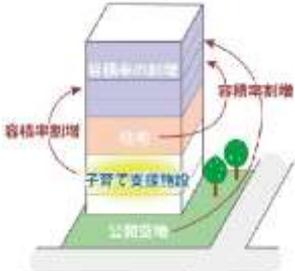
▼表：川沿いのまちづくりに関する法律・条例等の例

名称	概要
河川法	洪水、津波、高潮等による災害の防止、河川の適正利用、流水の正常な機能の維持、河川環境の整備と保全のため河川を総合的に管理する法律です。
建築基準法	建築物に関する法律です。建築基準法上では、川は、空地と同様の扱いとなり、斜線制限などが緩和されています。そのため、建築物は川に寄せて計画されることが多く、川沿いの建築物は、川に背面が向いてしまう傾向がみられます。地区計画制度など活用して、建築基準法の緩和ができる地域ルールを用いるなどの工夫が必要となります。

<p>東京都のしゃれた街並みづくり推進条例</p>	<p>小規模な単位でのまちづくりや、一体性のある景観づくり、まちづくり団体の登録を定めた東京都の条例です。</p>  <p>防災船着場・親水広場のイメージ (資料：東京都)</p>
<p>千代田区水辺を魅力ある都市空間に再生する条例</p>	<p>神田川・日本橋川の水辺空間を潤い、憩い、賑わい、交流のある空間として再生し、都市の魅力を向上させるための条例です。</p>

都市計画制度

▼表：川沿いのまちづくりに資する都市計画制度の例

名称	概要
<p>都市開発諸制度</p>	<p>公開空地の確保や域外貢献などを行う建築計画に対して容積率等が緩和される制度です。神田川及び日本橋川を含むエリアでは親水空間整備が域外貢献として評価されます。</p>  <p>容積率緩和のイメージ (資料：東京都)</p>
<p>地区計画</p>	<p>一定の地区内の土地利用や建築のルールを定めるものです。例えば神田川沿いの地区では、川に配慮した景観形成等が目標や方針に組み込まれているものがあります。</p>

計画・指針等

▼表：川沿いのまちづくりに資する計画・指針等の例

名称	概要
<p>千代田区景観まちづくり計画 (令和2年3月)</p>	<p>千代田区の景観形成の指針となる計画です。日本橋川・神田川・外濠を景観重点地区に含み、建築物の景観形成基準を定めています。</p>  <p>景観まちづくり計画の地域区分</p>

<p>千代田区界限別・重点地区景観まちづくりガイドライン（令和3年3月）</p>	<p>景観まちづくり計画を補完するため、界限と呼ぶ小さな区域毎に、景観特性に合わせた景観形成の指針を示しています。水辺では眺望への配慮や水辺に向けた建築物等の指針が盛り込まれています。</p>  <p>神田川・日本橋川の景観方針図</p>											
<p>千代田区ウォークアブルまちづくりデザイン（令和4年6月）</p>	<p>質の高い滞留空間や回遊空間を創出するためのウォークアブルな要素として、パブリックな河川空間が位置づけられています。</p>  <p>河川空間の活用イメージ</p>											
<p>神田川河畔まちづくりの考え方（平成22年11月）</p>	<p>東京都が策定した計画です。神田川・日本橋川のまちづくりのあるべき姿と取組みの方向性を示しています。</p>  <p>整備イメージ （資料：東京都）</p>											
<p>外濠浄化に向けた基本計画（令和4年5月）</p>	<p>外濠の浄化の事業スキームや施設整備について定めた東京都の計画です。</p> <table border="1" data-bbox="491 1167 1246 1263"> <thead> <tr> <th>外濠浄化に向けた取組</th> <th>2020年代</th> <th>2030年代</th> <th>2040年代</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>STEP1 下水再生水の導水</td> <td>基本計画策定</td> <td>基本設計・詳細設計・工事施工など</td> <td rowspan="2">外濠の水辺再生により、魅力のあるまちづくりを展開</td> </tr> <tr> <td>STEP2 荒川河川水の導水</td> <td>基本計画策定</td> <td>基本設計・詳細設計・工事施工など</td> </tr> </tbody> </table> <p>施設整備スケジュール（資料：東京都）</p>	外濠浄化に向けた取組	2020年代	2030年代	2040年代	STEP1 下水再生水の導水	基本計画策定	基本設計・詳細設計・工事施工など	外濠の水辺再生により、魅力のあるまちづくりを展開	STEP2 荒川河川水の導水	基本計画策定	基本設計・詳細設計・工事施工など
外濠浄化に向けた取組	2020年代	2030年代	2040年代									
STEP1 下水再生水の導水	基本計画策定	基本設計・詳細設計・工事施工など	外濠の水辺再生により、魅力のあるまちづくりを展開									
STEP2 荒川河川水の導水	基本計画策定	基本設計・詳細設計・工事施工など										
<p>神田川流域河川整備計画（平成28年3月）</p>	<p>神田川流域の河川整備の目標や実施事項を東京都が策定しています。防潮堤の高さを水面（A.P.：荒川工事基準面）から5.5mとしています。</p>  <p>防潮堤断面図 （資料：東京都）</p>											

川沿いの空間の利用

▼表：川沿い空間の利用に関する制度の例

名称	概要
<p>河川敷地占用許可準則の特例措置</p>	<p>川沿いの空間のオープン化の特例により、都市・地域再生等利用地区として指定された区域で営業活動ができるようになります。隅田川や日本橋川（中央区）において指定されています。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p style="text-align: center;">オープン化の流れ</p> </div> <div style="flex: 2;"> <p>①広場、イベント施設、遊歩道、船着場</p> <p>②前述の施設と一体をなす飲食店、売店、オープンカフェ、広告板、広告柱、照明・音響施設、キャンプ場、バーベキュー場、切符売場、案内所、船舶修理場等</p> <p>③日よけ、船上食事施設、突出看板、川床</p> <p>④その他都市・地域の再生等のために利用する施設</p> <p style="text-align: right;">占有が可能な施設 (資料：国土交通省)</p> </div> </div>
<p>道路占用許可</p>	<p>道路に一定の物件や施設などを設置する場合には道路管理者の許可が必要です。地方公共団体やエリアマネジメント団体が行う地域活動等では以下のような物件の設置が許可されています。</p> <div style="background-color: #e6f2ff; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・テント、パラソル <li style="width: 50%;">・ステージ、やぐら、観客席 <li style="width: 50%;">・テーブル、椅子 <li style="width: 50%;">・音響機材(スピーカーなど) <li style="width: 50%;">・電飾、提灯、ランプ <li style="width: 50%;">・フェンス、コーン <li style="width: 50%;">・フラワーポット <li style="width: 50%;">・ベンチ </div>
<p>道路使用許可</p>	<p>道路の交通の妨害や危険が生じるような行為は禁止されていますが、次の行為については所轄警察署の許可により道路を使用することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路において工事もしくは作業をしようとする行為 ・道路に石碑、広告板、アーチ等の工作物を設けようとする行為 ・場所を移動しないで、道路に露店、屋台等を出そうとする行為 ・道路において祭礼行事、ロケーション等をしようとする行為
<p>公園使用許可</p>	<p>次のような行為で千代田区の都市公園を使用する場合に許可が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真、テレビ等の撮影 ・防災訓練 ・健康診断（レントゲン撮影等） ・その他公園を一時的に使用する行為

支援制度

▼表：川沿い空間の利用に資する支援制度の例

名称	概要
<p>かわまちづくり支援制度</p>	<p>「かわまちづくり計画」を作成し登録した団体（市区町村、民間事業者、協議会等）に対し、河川管理者による調査や情報提供、占用特例措置、河川管理施設の整備等の支援が行われます。</p>  <p>かわまちづくりの流れ (資料：国土交通省)</p>
<p>水辺のにぎわい創出事業費助成金</p>	<p>東京都と(公財)東京観光財団が交付する助成金です。 水辺を活用したまちづくりに取り組む団体等が行う次の事業の経費に対して1団体当たり1,000万円を限度として助成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新たな水辺のにぎわいを創出する施設整備業 ②新たな水辺のにぎわいを創出するイベント事業 <p>公布対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会等 ・水辺活動団体 ・商工会等 ・民間事業者
<p>ミズベリング</p>	<p>市町村や住民、民間企業による多様な水辺の取組みに対して国土交通省が協働プレイヤー、コーディネーター、ファシリテーターといった支援を行うプロジェクトです。</p>  <p>ミズベリングの各種プロジェクト (資料：ミズベリング事務局)</p>

(1) 維持管理

川沿いの整備が進んだとしても、誰もが楽しめ、歩きたくなる空間であり続けるためには、日常的な維持管理が欠かせません。管理者はもとより、様々な主体が協力し、魅力ある空間を維持し続けるための体制づくりが重要です。

(2) 誘導策について

地権者又は建築事業者等が川に顔を向けた建築物を計画することでメリットを感じるインセンティブについて検討が必要です。また、川沿いの歩行空間を整備するための誘導策について、検討が必要です。

(3) まちづくり施策との連携

現状の法律等の規制により、川沿いの建築物は、川に寄り、背を向けた建築物になってしまっています。川に開けたまちづくりの実行性を高めていくためには、規制緩和を活用できる仕組みづくりが必要です。例えば、地区計画制度による地域ルールなどを設けることによる建築基準法の斜線緩和などが考えられます。その他、まちづくり施策との連携が必要です。